京城日報

朝刊と合せて八頁

定價 一部金二錢 一ヶ月金五十錢 … 發行兼編輯人 … 印刷人 … 發行所 京城日報社

列强大戰

▲帝國加盟 單獨媾和を爲さゞる盟約に

帝國政府は英佛露三國政府の勸誘に因り單獨媾和を爲さゞる盟約に加盟する事となり十九日倫敦にて井上大使と英佛露代表者との間に加盟規約調印濟の旨三十日外務省より發表さる此れに由り帝國は歐洲列國媾和會議に列するの權を確保したる譯なり(東京特電)

▲英佛寡兵 サロニカ上陸軍

羅馬來電に依れば英佛のサロニカ上陸は兵數尚ほ不十分なるを以て敵と對等に戰線に立ち能はず尚ほ三四日を要すべし塞軍は安全に退却し勃國に當り攻勢を執るべき機會を待つに至るやも知れず(紐育電報)

▲獨人の陰謀 在米犯人の就縛

紐育來電に依れば獨逸人にして諸種の陰謀を事とするもの未だ尚ほ合衆國内に存在せりとて社會の有力者階級に激しき非難絶えず新聞紙は刻下の危險を一掃すべき手段の講ぜられんことを要求しつゝあり最近に於て米國警官はブックス、ブライツングなる者を捕縛したるが同人は彈薬を積載したる汽船の破壞を企てゝ捕はれたる第十番目の重大犯人なり(紐育電報)

▲獨占領勃奪取

獨逸軍はクドカを占領し又勃牙利軍はクニアズンエヴァルツ、ザゼカルを奪取せり(倫敦電報)

○日置公使歸任 對支警告の結果

對支警告の結果に就き外交問題是れより愈々多難なるべきを以て目下歸朝中なる日置公使は兩三日中に歸任する由なり(東京特電)

○外務副參政官 大隈信常氏の轉任

豫て銓衡中なりし外務省副參政官は豫記の如く文部省副參政官大隈信常氏轉任に決し同氏の後任は中正會所屬代議士小山谷藏氏に決定せり(東京特電)

○觀兵式の豫習

三十一日青山練兵場に於て天長節祝觀兵式擧行に付き二十九日午前八時より同練兵場に於て豫習を行ひ諸兵指揮官神尾衞戍總督は巡視閲兵を行ひ尚ほ同日の注意事項に付き訓示する所ありたり(東京特電)

○羅南土地買收

師團増設に伴ふ羅南兵用地として駐劄軍經理部は羅北洞に四十萬坪の土地を買收せり(淸津特電)

雜報

●李埈公東上

李埈公殿下は御大典參列の爲め五名の從者と共に三十日午前八時三十分南大門驛發汽車にて東上の途に就かれたり、停車場には李王家御名代、李堈公御使、其他朝鮮貴族、官民等多數の見送りありたり

●軍艦日進廻航

帝國軍艦日進は十一月八日仁川に廻航の豫定にて右は御大典に對し祝砲發射の爲めなりと

●團隊長會議 期開

第九師團司令部にては十一月一日より三日間の豫定を以て各部團隊長召集團隊長會議を開催す可しと

●觀兵式豫行演習

龍山駐劄守備隊の步兵聯隊、騎兵砲兵中隊は三十日午前九時より練兵場に於て三十一日天長佳節に擧行の觀兵式豫行演習を施行せり

●共進會開放の意義 委員長 兒玉伯談

記念大共進會の閉場に際し最後の三日間を廣く一般に開放した意味は大に知れて居る樣ではあるが予の之を發企した動機及び理由に就いて一言したい、元來這回の共進會は歐米一般の博覽會共進會が槪ね興行會社の引受に依り全く營利的に開催さるゝのと根本に於て目的を異にして居る、過去五年間苦心發達の成績を内鮮人の別なく廣く官民に周知せしめ更に將來開發の機運を一層促進せしめんとするに在るので豐裕ならざる總督府の財政を以て尙ほ且つ約五十萬圓の巨額を支出したのである、故に社會の上下層を通し成るべく廣く觀覽せしめねばならぬのであるが予は開場式當日に於て鍾路附近を中心とし四街の沿道に幾萬の細民が溢れて居ながら割合に入場せざるを目撃し十分に其原因事情を調査せしめた、其結果朝鮮細民の家政狀態や憐むべき者で私立普通學校の月謝の如きは一箇月十錢なるに拘らず之を納むることが甚た容易ならぬ程であることが判つた、去れば一兒童が入場せんとし之に保護者が一名附けば已に十錢を要し甚だ困難を感ずる譯けで一家族相携へ一日觀覽し相樂むが如きは殆んど望むべからざる事であらふ、之れでは到底普く市民に觀覽せしむるのは不可能であつて所謂一視同仁四民愛撫の大御心にも背き廣く衆と共に樂むと言ふ寺内總督の素志にも副ふ處でない、何にとか一と工夫を要するとは當時予の腦裡に動いた問題であつた、其れ故其目的を貫徹せんとするには最後の三日間を一般に開放して一方民心の啓發を期すると共に可憐なる下層の細民にも一日の慰安と歡樂とを與へつゝと言ふ社會政策の根本義から割出して是非實行したいとの考を起した、最近迄で相當の入場者を絶たざる以上協贊會等の經理上には必要もなくせめて天長節奉祝の意味で最後の一日位としては如何との說もあつたが予は依然主旨から反覆協議し遂に三日間開放と言ふ事に決した、而して其成績は物の一日で已に十一萬餘人の激增を見平素に約十倍するの盛況を呈し結局最初三四十萬人の豫定なりし入場者は將に百萬人を超えんとするは如何に其必要のあつたかを證する者で實に喜に堪へぬ次第である、就ては予は一般市民に以上の趣旨が遺憾なく徹底し、終りの一日を愉快く暮らせ彌が上にも盛大に芽出度く閉會の幕を下ろしたい者と思ふ

濟生院盲啞部出品盲生模型 盲生の一人が點字教科書を讀み他の一人が之を聞取り筆寫する狀態を示す ——共進會第二號館教育部

●觀覽者百萬を超さむ 二十九日は十一萬餘名

開會以來二十八日迄の共進會入場者數は晝夜累計八十八萬八百八十七名なるが二十九日より三十一日までの最後の三日間は無料入場を許せしことゝて入場者激增し二十九日は晝間六萬七千五百十八人、夜間四萬三千四百六十三人、計十一萬九百七十三人に達せり、但し右は多少の計算漏れを免れざりしといへば實際の入場者數は此以上なりしなる可く又た今朝は雨模樣なりしも間も無く快晴となりたれば入場者は前日に倍加ず可しく斯くて閉會までには優に百萬以上の觀覽者を見るならむと豫想せらる

□共進會入場者 (二十九日無料日)(會場計算)

▲晝間	六萬七千五百十八人
內地人	二六、〇二三
朝鮮人	四〇、七六二
外國人	三三
▲夜間	四萬三千四百六十三人
內地人	三〇、〇六九
朝鮮人	一三、三八三
外國人	一一
合計	十一萬九百七十三人
開場以來累計	九十九萬一千八百六十人

●在鄕軍人分會奉祝

在鄕軍人會京城分會にては三十一日警務總監部に於て天長節奉祝の擧式をなすべしと

●御眞影奉戴

永興防備隊附大廣海軍大尉は御眞影を奉戴して卅日午前八時五十分南大門驛に下車少憩の上同九時二十分發汽車にて元山に向へり

●伊澤前警視總監入京

前警視總監伊澤多喜男氏は二十九日午後九時南大門著入京立花憲兵隊司令官々邸に入りたり

●定款草案脫稿 一日第二回の發起人會

京城商業會議所新設の件に就ては先きに發起人總會を開會して七名の委員を選び是等の委員は二十九日新設會議所定款起草の件に就て會議を開きたるが同日全部の決定を見るに至らず更に三十日午前十時より第二回の委員會を開會し定款全部の脫稿を見るに至りたるを以て來る十一月一日午後一時第二回の發起人總會を開き新定款に贊否を求めたる上一同に異議なくば直ちに承認の捺印を求め續いて會員三分の二以上の選擧を取り茲に始めて其の筋に認可申請書を提出する順序なりと云ふ、今回制定したる定款は既報の如く大體に於て從來のものと大差なきも役員の權限を增大したると評議員の選擧規程を嚴重にしたるとにありと云ふ、同申請書には來年度豫算を添附して提出する由なるが歲入出總額一萬五千圓位なりと

人事消息

▲鶴田正忠氏(朝鮮軍司令部會計監督) 三十日朝內地より入京

▲竹田太一氏(總督府技師) 同上

▲小川運平氏(同民政課長) 同上

▲高橋試補(農商工部在勤) 慶尙道出張の爲め三十日全北に向ふ

▲八尋技師(農商工部在勤) 慶尙南道出張の爲め三十日平南黃海道に向ふ

▲池田泰治氏(土地調查局技師) 水利調査の爲め二十九日京畿道金浦郡へ

▲遠藤隆吉氏(文學博士) 廿九日夜出發歸京

▲森義臣氏(慶尙南道民政官) 廿九日夜東上

南言北語

大部隊の英佛軍がサロニカに上陸したとか伊軍が來たとかデアカツチに聯合軍の上陸だとか盛に大兵を出兵して居る樣な協商側の聲明も何うも紙上出兵らしいと思つて居るとサロニカに上陸した兵力では不充分だから敵と對當に戰爭する事が出來ぬ▲もつと送兵せねばならぬから先づ三四十日後にならねば戰爭をしないと云ふ▲之では塞軍もやり切れねば黑山國も泣き出した筈だ怠な以て巴爾幹の運命は妙になつた▲佛國では物議が起つて內閣が改造され英帝は落馬せられて負傷遊ばされたア、縁起でもない事だ▲だが日本も諸君と共に單獨媾和はしないから大にやるべし何んな事でもして勝つ事はウンさやるよ▲米國で獨探の活動は却々猛烈らしい近く捕縛されたマックス、ブライツングと云ふ巡査も彈薬積載汽船爆發を企てた十番目の犯人だと巡査が之れでは油斷もすきも出來まい▲嚴冬將軍が來たら今に見ろ一と卽きに卽き付けてやるぞと威張りつゝ退却した露軍は雪深くして馬進まずでは▲チト矛盾だ▲矛盾と云へば支那各省の巡按使は國體變更に關して何れも靜穩だと北京に打電して居るが▲湖南、湖北、廣東、泗川等の模樣は何うだ革命黨と匪徒の橫行は御存じないのだらうか▲果して謙遜とすれば革黨や匪徒を百人卽き殺したものがあらば一萬元やるなんて云ふ治安維持の法令を出すにも及ぶまい▲舊い石垣は大雨が降つて其の中の一箇が崩れやうものなら見る見る內に總崩れとなつて屋臺骨迄も引つくり返る事が多い長江筋の石垣も崩れねば宜いが

京城府告示第十六號

來ル三十一日天長節ニ付當廳ニ於テ御眞影拜賀式擧行候條同日午前九時ヨリ十一時マテノ間ニ於テ府民一般隨意拜賀セラルヘシ

但シ服裝ハ「フロックコート」若クハ羽織袴トス朝鮮人ハ相當敬意ヲ缺カサル服裝ニテ差支ナシ

大正四年十月二十九日 朝鮮總督府府尹 金谷充

物品購買公告

大豆 貳千石

此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上

右購買ス供給請負希望ノ者ハ本府庶務係ニ就キ入札人心得書、契約書案、仕樣書、現品等熟覽ノ上十一月一日午前十一時限リ本府庶務係ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當ス

大正四年十月二十五日 京城府

水族館の假裝競技大會

一、來る參拾日午後七時より十時迄市內一般有志者の假裝競技を擧行す

一、何人にても隨意假裝の事

一、假裝者は水族館構內の審判所へ御出頭の事

一、審判員は其假裝姿の巧なる人より順番に等級を付す

賞品は壹等拾圓より二百等迄とす

御大典の期日切迫して參りました、千載一遇の御大典には必らず此萬歲旛を揭揚して奉祝せねばなりませぬ時機を逸せぬ様に御注文を希望します

萬歲奉祝會

朝鮮一手販賣 京城日報社代理部 電話京城三〇〇番

萬歲旛頒布定價表

略號	名稱	品種調製概略	寸法(曲尺)	一流の價格	郵送料
い	奉祝揭揚旛 甲	金巾製捺染金文字釣金具付	巾一尺六寸 長三尺二寸	六拾錢	十二錢
	乙	同 兩面上製	巾一尺六寸 長三尺二寸	一圓十錢	十二錢
	丙	絹綿交織豊錦金文字釣金具付	巾一尺六寸五分 長四尺	五圓	十八錢
	丁	純絹別織同上特製	巾一尺六寸五分 長四尺	八圓五十錢	十八錢
	戊	同 特別製大形	巾三尺 長八尺	三十圓	三十錢
ろ	記念掛額	純絹羽二重製金文字	巾五寸六分 長一尺二寸二分	五十錢	三十枚迄拾二錢
は	奉祝佩用旛	純絹羽二重製飾ピン付	巾一寸三分 長二寸七分	二錢	八百枚迄十二錢
に	奉祝小旛	金巾製捺染白文字	巾七寸五分 長一尺三寸	四錢	六十枚迄十二錢
ほ	特製劍付塗竿	黑塗千段卷竿銀色劍付	長五尺五寸	一本一圓五十錢	十八錢

御大典奉祝用萬歲旛の義製造と運送上の都合に依り愈本月廿五日限り豫約を締切る事に致し候間御希望の御方は此際至急御申込被下度候

追て現品は本町ロシヤ物産商會鍾路韓盛商會及明治町村山商行へ陳列致し居り候間便宜最寄へ御申込被下度候

武俠世界

十一月號

▲怪奇小說 バラ屋敷の火……針重敬喜

▲地下の孝浪兄に與ふ 時事を概す……芳山

▲英國美男少年隊の活動振

▲痛快 亂闘としての南洋生活……法學士 石

▲赤坂の天覽試合……大村道太郞

▲武俠科學 恐ろしき坊主の怨靈

▲無錢旅行の極意

▲慘烈無比 夜襲戰

▲老傑頑張物語

▲侠骨鰹の久三

▲賴三樹と石燈籠

▲赤裸の南方先生

▲軍事探偵の秘訣

▲世界動物 天空の魁……大村幹

▲先帝御大典の思出で……大隈重信

東京日本橋區馬喰町 興文社

市場零聞

▲前場の商戰

▲標準米改正延期

▲例の新米格上七十錢無料

仁川米豆取引所

二節 八八九十七錢 三節 八八九十七錢 四節 八八九十九錢 五節 八八九十九錢

止め 八九八 高値 九〇一 安値 八九七

潮と寄せた觀覽者
共進會無料觀覽の第二日
快げな觀客で一杯に溢つて動きもならぬ盛況である

共進會最後の三日間は無料觀覽となつたので出たは／＼その第一日の二十九日の入場者は晝間六萬七千餘夜間四萬三千餘、合計十一萬餘の驚く可き觀客を迎へその第二日なる三十日は早朝雨を見たるにも拘らず十時頃から青空その顏を覗げ柔い初冬の日光が氣持よく照り初めたので光化門通りから場内は潮の如き人押すな／＼の光景凄じいばかりそれに本日は百三十尺の高塔東亞の廣告塔から共進會成功塔の間に猿の綱渡りがあつてお猿さんの福引券撒布があるといふのが大人氣となり協贊會の方は群衆雲の如く集りその開始遲しと待つて居る各館の陳列場には百五十七名の警備巡査が取締と案内とを兼ねて配置され順路を順次觀覽せしむるやうにして雜踏を避けしめてゐる何處へ行つても樂しさうな愉

雨夜の活動寫眞

共進會の成功を祝し御名殘興行として再び演藝館に出演せる松旭齋天勝一行は『新らかれ胡弓』『いたづらボーイ』の兩お伽喜劇、音樂合奏、魔術、宇宙の少女』少女ダンス等で連日滿員の盛況を見せつゝあるが今回いよ／＼最終日たる三十一日まで出演することに決定しその上に、今三十日夜と明三十一日夜の兩夜はその中幕及び大切りとして共進會觀客の雜踏、閑院宮開會式台臨、三重號飛行訪問その他の新活動寫眞を加へることゝなつた、此活動寫眞は鐵道局で苦心撮影したもので『共進會の實況』はもとより尾崎行輝氏操縱の三重號が東亞廣告塔の附近で特に活動寫眞撮影の爲め低空飛行を試みた程なのでその雄姿は眼前に迫るが如く入つて居る、同飛行を見ぬ人も見た人も一度は觀覽の價値が充分にあるであらう

御大禮奉祝の儀
京城府にて決定

御即位御大禮の際に於ては吾京城府に於ても内地同樣盛大なる祝賀の意を表せんとし既に京城府に於て其準備中なりしが三十日大要左の如く決定したるを以て進んで別紙で夫々の委員に依り實行會を開會し實行方法に就きて協議すべしと

▲一齊に萬歲奉唱 御大禮の奉祝期間は十一月十日より十七日迄とし府民一般に奉祝の敬意を表することゝし同十日の午後三時三十分は恰かも京都に於て内閣總理大臣の萬歲を奉唱するの時刻なるに依り吾京城に於ては時差の關係上正三時を期し府民は各戶の庭前に出で、京都方面に向ひ一齊に萬歲を三唱することに決定したり、但し當日は同時刻より五分間前即ち二時五十五分漢陽公園の高臺に於て一發の大煙花を打揚げ萬歲奉唱の準備を爲さしむると、更らに五分間を經て第二回の號砲を打揚げるを以て其際必ず一齊に萬歲を三唱されたきものなりと

▲各町内の催し物 各町内の施設としては各戶必ず國旗を掲揚するは勿論更に〆繩、提灯、生花、其他の飾物等を爲して市中の賑ひを添ふると共に各町内には電氣裝飾、綠門、花車、假裝行列を行ひ旅館組合、料理屋組合、券番妓生組合、各劇場等も各自獨特の考案になる催物の計畫あり自轉車、競馬、擊劍、生花等の各種競技會も催すことになりたる外十日及び十七日の兩日は漢陽公園に於て大煙花二百發を打揚ぐると共に京城電氣會社は七臺の花電車を各線に運轉し東大門、南大門、普信閣等に大典奉祝の扁額を設備する筈にて十日は府内一般に休業して奉祝の意を表し府内樞要の地點數箇所に於て祝酒接待の催あり、さらに十七日は府民一般の大提灯行列を行ふ筈にて各戶必ず一名宛出動をなすものと見れば其數實に十數萬人に達す可く前代未聞の大盛賑を呈すべし、尚ほ同日景福宮に於ても官民聯合の奉祝大宴會を催すべしと

▲學校の提灯行列 大典奉祝のため擧行す可き府内官公私立學校職員生徒聯合の提灯行列は未だ決定せざれども之れに參加する生徒は全部男生とし尋常五年以上普通學校三年以上中學程度は全部とし十一月三日迄に京城府を經て學務局に總人員を申出づる筈なるが約一萬二三千の人員を參加せしめ得る見込なりと云ふ行列の方法は當日午後六時三十分迄に京城中學校大運動場に參集し監督掛員の指揮に依り一齊に點火し左の順路を勇しき各校歌を唱しながら行進す

集合地＝光化門前＝新橋通り＝京城日報社前＝長谷川町通り＝京城郵便局前＝本町通り＝黄金町＝日出町＝總督官邸＝倭城臺＝南山町＝解散（順路略圖）

此行列の總督官邸に到りたる時は各團體毎に天皇陛下の萬歲を奉唱し職員生徒は帽子を高く擧げて奉祝の意を表する手順なりと

共進會 側面觀 ——ダースー——

（六）巡査

『飯路は何處ですか』と共進會の中で訊れますので方角と場所を敎えてやると『アイゴー』と云ひながらも急しさうにサッサと共進會を出ようとする『何したのか』と訊ねると『便をしたいんだが飯路ちうさこへ行や共同便所ちうもんがあるさうだで』と駈け出しさうにする、飯路までは行つて小便して來るつもりなんですから田舍から出て來た群人は那がありません』『事故で一番多かつたのは迷兒です、今日明日は無料ですから又大變な人出でせう、人出が多いと迷兒も澤山出ますよ、一日に三十人も迷兒の出た日がありますからね』と巡査公と立話の所へ早速内鮮の兩迷兒が泣き／＼連られて來る、之れは迷兒の名人と見えて大きな札がつけてあると、ぶら下つた大きな木札を翳し出して見せる、明治町二丁目五番地、小山旅館主石原とく孫石原靜一と記してある、幾けと聞くと『五ツ』と手を片方見せる

（七）興業師

一興業師曰『儲けた額は興出居ですもう吾れ／＼も品を換えてかゝらねば儲ろ目度はありません、何時までも田舍者だましでは世が渡れませんからね、田舍者だまするつもりでゐて此方が知らぬ間に田舍者に浚つて仕舞つてゐるんですからの。困ば少し、客はあつたのだから出し物さへ替ければかつてゐるんですが、何樣種が之れではね——朝鮮人だつて京城の人はどうして馬鹿になりませんよ、まだ内地の田舍に却つて面白い所がありますよ』

（八）有料便所女事務員

『妾ばあ女事務員の中でも金さ取扱ふだで知々責任ちうもんがありますだ、お叔母さんと一作に、監督さ行つて女事務員に使つてくろさ頼んだだが、その時お役人さんの云はしやるには、お前ら若いか、おらも若いだ、あつちの者なら心配いよつて金持たしても大丈夫だんべいちうて直ぐ定めて下さりやした』『紋付羽織で演藝館裏の有料便所に控えたる女武者然たるが語る』『さうさね、一日に百人位づゝは這入るだんべい、藝者がこんなかでまつ白に化粧しやつしやるで一度二度だよ、安いもんだで、お前さんもはいらしやらんか』

（九）藝者

共進會演藝館に五十日間毎日出演して『御代の榮』と『つひのよろこび』を繰り返へし／＼踊つて數十萬の觀客を呼然たらしめたる京城藝者の一美人、演藝館福引引換所の前に立つて曰く『妾何べん買つたかつて當らんさかい、いやになちやつたわ昨日五本、おとゝひ十本、さきのおとゝひ十五本買つたのに、やぐらの若ちやんはいつぺんに十本買つてとう／＼火鉢をあてちやつたの』『踊りだつか、ありや踊る相手が合はんやうになるものだす、この頃はもう目茶苦茶や。見やはる人も野暮ぎり貸めとりますもん』

家庭博覽會 名殘の遊樂、

家庭博最終の三十一日は晝は午後一時から夜は午後七時からの二回妓生の人氣投票がある、此の時刻に廣橋茶洞兩組合の妓生各十名宛が家庭博に現はれ、各自藝名を記した札を下げて歌、踊をやりながら場内觀覽者の間を練つて廻る、それに對して入場者は各一枚づゝ渡されたところの投票用紙に一人を限つて投票する、投票箱は各妓生の名前を記したものが出演妓生の數丈置いてある、それに思ひ思ひに投票すればいゝのである

非常な賑ひ

卅日の晝の家庭博は先ず廣江商會の店員職工二千名が奇拔な假裝行列、音樂隊と共に繰込んで來て場内を一週して正門前で京城日報の萬歲を三唱したのを始めとして信彰組合の妓生二十二名が盛裝してやつて來て針競爭、提灯競爭、目隱し競爭、綱引等があつて非常に賑かだつた安さん攻擊

大祝賀會

卅一日午後倭城臺にて 京城府廳主催の官民合同大祝賀會は三十一日午後二時より倭城臺に於て開催すべしと

能樂大會 第一日の盛況

素謠の『三輪』が濟むと鳴物や大鼓小鼓節妙に三保の松原の書割を脊に橋掛りから漁夫伯龍が現はれて松風の樣な囃しにつれ『伯龍と申す漁夫にて候』で進んで行く觀客には咽喉に覺えのある人達、中には婦人達も少からず見える皆熱心に謠本を膝にして中には小聲で口の中で吐いてゐるのさへある迦陵嚬迦の鳴く音もそこら虛空に聞こえる許り天人と伯龍とが羽衣を返さぬの天人問答があり軈て吸ひ上げられる樣な賑やかな囃しにつれて天人は昇天する——素謠『いろは』が挾まれて直ぐに『雪は鵞毛に似て飛んで散亂する』佐野のあたりの冬景色を背景にして主人源左衞門が沙門最明寺殿との應待があり鉢の木『十八町許り彼方』に向ふ時賴を呼び入れ圍爐裡に松竹梅の心盡しを焚き入れて『いざ鎌倉と云ふ時は……瘦せたりと雖も此馬に跨り、錆びたりと雖も此の槍を執り』と封建時代の瘦せても枯れても滅びやらぬ武士氣質の閃きを見せて觀客の心を緊張させ軈て鎌倉殿の非常召集に一番驅けに馳せ參じて昔忘らぬ心の花に面目を施した源左衞門の榮華に觀客をホッとさせる『羽衣』と云ひ『鉢木』と云ひさしもの大物を苦もなくやつてのけた手際はさすがにさすがである仕舞『藤判』を入れ『松蟲』『附子』の一調を中入れにして『葵上』で最後の技倆を見せ『祝言』で目出度く幕を閉たのは午後の日射しも傾いてゐた何樣京城に珍らしい催能とて熱心な觀客を集め得たは頂上である明日の日曜はまた盛況を呈することであらう

能樂大會の第一日

今夜の博多仁輪加
『浮かれの掛取』 「家庭博福引藝妓の景品」 「京城日報活動掲示臺」

英帝奇禍 落馬遊ばさる

倫敦來電に依れば英國皇帝落馬せられ重き打撲傷を負せられたり（紐育電報）

家庭博を訪へる廣江商會假裝行列

盛岡へ 四機翼を揃へて

特別大演習に參加せし飛行機中の二十二號（武田中尉）二十四號（眞壁中尉）二十六號（中澤中尉）二十八號（長田中尉）の四飛行機は二十九日午前十時青森を出發したるが二十六號は途中小港にて發動機に故障を生じ十時半頃同地に着陸し青森より佐藤大尉現場に急行せり其の他の三機は同零時二十分より前後して何れも無事盛岡に着陸せり（東京特電）

家庭博福引
三十一日は景品のありッ丈全部進呈

世の中に家庭博の福引程豐富な福引は外にない本社提供の現金及び物品と之に各商店其他からの寄贈品を時價に見積ると勿驚金額實に三千五百圓に達する而も只今（三十日午後三時）まで尚ほ續々寄贈品が集まりつゝある此分では三十一日に殘るべき景品が尚ほ莫大な數に上るであらう 三十一日は此の殘部の莫大な景品全部を入場者先著順に福引を以て進呈する若し又今夜の殘り籤が非常に多かつたら入場者先著順に一人二本宛籤を進呈する事になる兎に角家庭博景品の立派な事は評判の通りだが三十一日は最終日だから一層大に振ふ筈である、何よりも早いが勝である籤が盡きぬうちにお來でなさい、夜十時半まで入場が出來ます

公報に曰く 宇治火藥庫事件

二十七日午後九時及び二十八日午前一時半の二回に宇治火藥庫區域内に二名の盜賊忍び入り歩哨に咎められ逃亡せり火藥庫に損害なし（陸軍省公報）

秋季野球大會

今三十一日龍山鐵道野球場 今三十一日午前八時より既報の如く龍山野球場にて秋季野球大會あり番組左の如し

第一回戰 鐵道第二選手、鐵道庭球部
第二回戰 遞信局、京城倶樂部
第三回戰 五星倶樂部、鐵道第一選手

天勝と龍山

目下共進會演藝館にて興行中の天勝一行は來月一日より二日間龍山佐久良座にて開演し大小奇術外評判のサロメを出す由

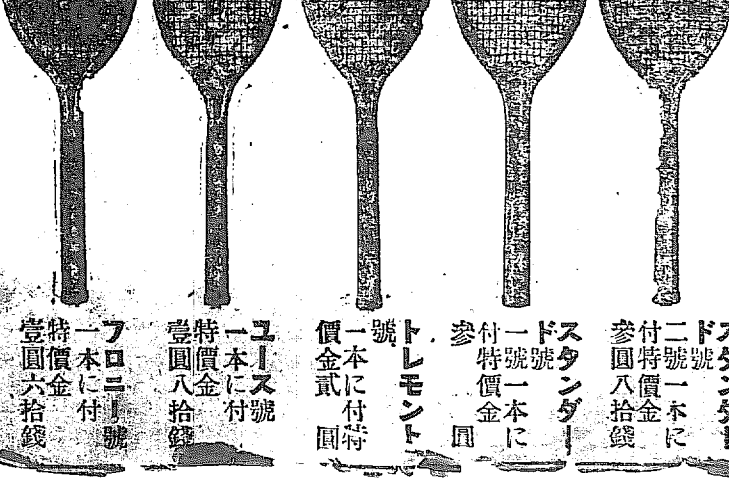
說敎と講話

◎京城禁酒會演說 三十一日午後一時中旭町二丁目名古屋城所座にて、藤井誠一氏『禁酒の勸め』スミス氏
◎救世軍の集會 十月三十日（土曜）午後八時京城部隊局前にて『何かなすべきか』石島大尉 三十一日（日曜）午後、時永樂町二丁目通り屋内、那大典記念合戰に就て石島大尉
◎京城日本基督敎會 平和の主 十月卅一日午前十時恩寵の岡 同日午後七時半井口牧師
◎メソヂスト敎會（旭町二丁目） 卅一日午前八時四十五分 幼稚科天長節禮拜『恩寵の福祉』兩岡牧師 午後七時三十分禮拜『所感』細井敬一君『禁酒の勸め』エフ、エッチスミス君

金牌受領 本椿香油 髮を黑く長くつやを出しきら／＼として髮の落ちるを防ぐ事妙

能樂大會
□場所 有樂館
□日時 十月三十日正午十二時始め 同 三十一日午後三時始め
■初日番組 素謠 三輪。能 卷絹、鉢木、葵上 狂言 いろは、附子、外一調仕舞
■二日番組 素謠 安達原。能 融。隅田川、船辨慶。狂言 墨塗、末廣 外一調仕舞
□觀覽席料 特別 二日間共通 金三圓 普通 同上 金一圓五十錢 普通 一日限り 金一圓
□觀覽申込所 旭町一丁目日の出湯前 柴田松坡 南山町三丁目 中川正致 櫻井町二丁目 田沼大吉 南山町二丁目 圓中元次郎 龍山元町二丁目 藤田安之進 當日申込所 有樂館
主催 京城能樂會

ロンテニス用ラケット新荷著



スタンダード號 二號一本に付特價金參圓八拾錢
スタンダード號 一號一本に付特價金參圓
トレモント號 一本に付特價金貳圓
ユース號 一本に付特價金壹圓八拾錢
フローラ號 一本に付特價金壹圓六拾錢
朝鮮一手販賣 京城本町一丁目 日韓書房 電話二三五 振替二三七

イゲダ小兒病内科醫院 池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院）一二三四 （自宅）八八〇

御大典奉祝 御用酒
白酒 黑酒

發賣元 上城酒造場 仁川花町二丁目 電話七五八番 振替京城八八二番

商況 大阪株式特電
下關期米特電
京城正米
下關相場
天氣 くもり 曇り後晴れ

あと一日

共進會も家庭博も

△共進會は無料觀覽
△家庭博は只より安し

奉天情信

蒙匪馬賊掃討計畫 ‖ 奉天省國體投票

▲蒙匪の大討伐 庫倫より張家口に至る地方に蒙匪二千餘ありて四方を劫掠し勢猖獗なるは既報せしが該匪の首領は托什托と稱し曾て支那政府が王爵を以て招撫せしも應ぜざりし程の剛の者にて若し其儘に棄て置かば外蒙の一大事たらむとて庫倫政府は彌々精兵三千を派し民兵と聯合して討伐を行ふに決せりと

▲蒙政特派駐地 北京の蒙藏院は直接連絡を保ちて院令により蒙務を辦理する特派員は既に政府と協議を了し分遣する事となり居れるも人選及び經費に窮して今日に及べるが蒙藏院にては今回其駐在地を歸綏、青海、科布多、阿拉善、内蒙各旗と指定したり特派員分遣の準備なるべし

▲三省馬賊掃蕩 秋收後盜匪の隱匿所なきを好機とし段巡按使は吉林黑龍江兩省將軍巡按使と電商し馬賊の大討伐を行ひ東三省の清涼を遂げ内は省民を安んじ外は外人との交渉葛藤を杜絶せんと計劃しつゝあり愈々斷行の際は中央よりも大吏を派遣し參議せしむべしと

▲奉天國體投票 奉天省の國體代表大會は二十八日朝八時より代表全部五十六名巡按公使署に參集し段巡按使の臨場を俟ち十時より開會段巡按使より一場の注意的訓示ありて一名宛國體投票を爲し終りて休憩別室に於て午餐の饗應を受けて午後三時頃解散せるが此日も兵警多數場の内外に配布せられて非常を戒しめゐたるが奉天の官民は上流一部は兎もあれ他は一般に共和君主何れにも風馬牛にて至極平靜なり投票は〆切後直ちに封緘即日北京に送付せられたれば其代行立法院にて開票せらるるまでは結果不明なるも官憲の干渉といひ國民代表の色彩といひ恐らくは滿場一致君主立憲に一致せしならんと推測せらる

▲華銀開業準備 北京の華富殖業銀行は哈爾賓に於て株式三十萬元を募集し支店を開業せんとし過般來行員何止敬を派遣し各種調査を爲さしめつゝありしが彌々成功の見込立ちたりと思しく今回三道衙儲蓄銀行鄰家を借入れ支店創設事務所となし目下株式を募集し居れり

●咸南農作優良

在來品種の改良

約二十六萬石弱なるが本年は特に天候良好なりし爲め平年作よりも約二割強の增收ある見込みにて其の實收高は約二十九萬石位るの豫想なり又麥作は一般を通じて好成績を擧げ例年に比し一割五分以上の增收なり大麥は作付反別二萬三千九百五町二反歩にして之れが收穫高十五萬六千四百三十一石、小麥作付四千六百十六町二反歩にして收穫二萬三千四百七十石其他總作付反別に於て二萬八千五百八十九町二反歩收穫高十八萬二百十五石なり而して本年裸麥を見るに品種殆んど在來種にして品質良好ならざるより道當局に於ては該品の改良並に收穫の增進を圖るため各郡の種苗圃及び道種苗圃に於て改良品種の試驗中なれば明年度は相當優良品を出すに至るべしと

●元山大豆近況

元山大豆の近況を聞くに元山地方に於ては例年に比し甚しく出廻り鈍を示しつゝあり且つ價格は可成り安値を唱へたる昨年の同期に比し尚且つ五六十錢安を持續し甚だ杞憂に堪へざるが如きも過般橫斷航路第一回を開始せし際咸興より大豆を積載せし爲め早くも元山市場に好影響を與へたれば今後大豆の盛期に入ると共に盛んなる移出を見るに於ては市場の景氣復活するに至るべし

●(群山)大提灯行列

御大典と我社群山支局の壯擧

來るべき曠古の御大典奉祝に際しては既報せる如く群山市民は各町任意餘興裝飾を爲す事となり各町の有志は非常なる意氣込みにて間々裡互に競うて壯麗なる裝飾奇抜なる餘興を催すべく寄り〳〵協議中なるが既に準備に著手せる向もあり定めて群山市中の御大典當日は空前の賑ひを呈すべく一方群山京城日報每日申報支局主催者となり普く市民に日の丸提灯を配布し御盛儀を奉祝すべく御大典祝日當夜群山全市民と共に音樂隊を先登とし大小數十本の萬燈を差加へたる一大提灯行列を擧行し各町各團體各商店各料亭等も各々意匠を凝したる假裝列行にて參加する事となり居れば群山未曾有の壯觀を呈すべし

廿九日夜家庭博餘興妓生の歌競爭

●天長節と府尹招宴

天野群山府尹は三十一日天長節祝日午後三時より群山日鮮官民重なる者を府廳樓上に招待し盛大なる奉祝賀宴を催すべく府尹夫人連名を以て夫々招待案内狀を發したり

●面長及篤行者表彰式

忠淸南道に於ける總督より表彰せらるべき優良面長及び篤行者表彰傳達式は三十一日午前十一時より道廳に於て擧行する筈

家庭博寄贈品

二十八日以降家庭博福引に景品を寄贈せられたる氏名左の如し

▲園成社入場劵二百枚 黄金町一丁目 野田元次郎
▲寒暖計五個、花鋏五個 南大門通り 三輪商會
▲卷紙百卷、封筒五十六枚、筆筒四十個 本町 篠崎本店
▲エビス麥入升袋百 同 勢一米店
▲ライオン印クリーム 同 丸一吳服店
▲手拭廿九本 百四十四個
▲藥書五十枚 明治町一 北村皮革店
▲砂糖十袋 本町 遠谷砂糖店
▲大根百五十本 新龍良商
▲八寶丹二百包 鍾路 和平堂
▲銀貨入一打 本町 辻屋
▲菓子七十一個 同 山岸天佑堂
▲醬油割引劵百枚 南大門通り 高杉商店

家庭博當籤者

二十九日の主なるもの

一等本町二ノ七七今井一枝▲顯祖 貝振智井町一斗▲同上蓬莱町一高田萬次郎▲白米一斗南米倉町田邊一▲四等南山町一の一川海岸町吉田守▲四等南山町一ノ一仁 三の五長谷川明▲同高陽郡延禧面 色寺崎民藏▲京城府松洞敎員養成所 李幡寶▲▲同南大門鐵道官舍八一岩見 さだ子▲▲同旭町一の四七横川節▲局 本町五井口文彌▲同住所井口銀三子 ▲同第三十五聯隊▲同一中隊金森外城 ▲戎麥一袋光州管彌三郎▲三等京城 樂園洞一ヵ二林宇陽▲四等仁川花町 三川添安太郎▲龍山鐵道官舍十二號 平田きみ子▲同京城女子高等普通學 校富村きよ▲四等京城瑞麟洞一ノ三四 七白點董▲戎麥太平町二茂昌滿▲ 等京城黄橋通り九七北田きみ▲二等 京城壽松洞五金永奎▲四等旭町一 石井勝三▲洞二一等漢江通山下伊藤つ る枝▲四等明治町二ノ六二井上逸織 ▲京城貞洞十三金仁歎▲白米大和町 ▲二ノ五九前田義基▲三等若草町三五 二野駒作▲三等笠井町二〇六金姓女 廣四等曲洞六五金永根▲白米京城清 ○進洞一六四田畑提▲四等光化門道九 ○李堀植▲白米櫻井町一ノ一二六森 島たかよ▲石炭永樂町二石川辰次郎 ▲木炭旭町一ノ七九白樂九▲白米永 樂町一二ノ一〇六小森幸之助▲寫眞路 樂町一ノ三〇〇宮崎つか▲戎麥鐘路 一小澤健次▲三等旭川二田口ひさ 三等明治町一丁目山本吉次▲一等京 城玉川洞四十一番地李永祥▲白米水 標町九八李東熙▲白米龍山陸軍官舍 吉賀かね子▲四等黄金町三吉澤辰太 郎▲四等鍾路町一〇〇李鼎來▲ 四等京城瑞麟洞一二ノ三七金納容

●連絡船上陸客

二十九日午前入港高麗丸一二等客

(二等十名)澁川雅實、矢野助藏、伊澤多喜男、島崎五郎、蛇目萬二郎、伊藤穩造、中澤源、深谷又三郎、金子金吾、米人一(二等客二十三名)中司窮、谷彥一、松浦又二郎、廣田八之助、今村甫子、同寛、山内魏之助、同やす、森谷辭枝、山内道之、佐藤通、毛利たけ、前川せい、熊本…、木彥太郎、山本喜代造、藤村忠助、傍坂鐵三、植田保衛、山室八代、同一代子、同舒子、池田じづ(三等百八十四名)

廿九日午後入港對馬丸一二等客

(一等三名)堀田正忠、竹澤友一、小川運平(二等十三名)天野義宜、伊藤正次、室瑞俊恒、中川巫一、河村雄次、黑田義俊、麻生音波、杉山治郎、同よね、執行多八、岩本正隊、松倉乾二、須々木幸次郎(三等三十六名)

第二期 現代叢書 會員募集

何が故に第二期刊行を企てたる乎

現代人の精神生活を遺憾なく充實せんが爲に

第一期現代叢書が、社會の各階級より熱狂的歡迎を享受したることは、實に我が出版界空前の一大事實なりき。是れ本叢書が、最も斬新にして最も實用的の知識を、最も簡潔にして最も趣味ある文章にて記述したるに依る。換言すれば現代人の精神生活を遺憾なく充實したるが爲めに外ならず。今回新に其の第二期刊行を計劃し、左記新題目の下に、執筆者を悉く各學界の權威に求め、一層内容の精錬と充實とを圖りたり。蓋し現代出版界唯一完全の叢書也。

蘇峰 德富猪一郎監修
東京帝國大學法科大學教授 法學博士 吉野作造編輯

毎月一回發行 一箇年完成
毎月會費壹圓 一時拂拾圓
締切十一月末日 見本規定進呈

各冊内容一斑

■南洋 大正四年十二月發行
日本帝國最近の領國は、新に領土を南洋に擴張せり。今日のみならず太古以來南洋は日本民族と密接不離の關係あり故に南洋を究むるは即ち日本の過去現在未來を究むる也本書の材料は某官省最近の蒐集に係るもの現今に在りて南洋に關する唯一の權據たり

■歐洲大戰 大正五年一月發行
今次の世界大戰は云ふまでもなく有史以來空前の大亂也隨て戰爭に關する圖書の如き汗牛充棟啻ならずと雖も戰亂の眞因、外交の機微、對手國兵力武器の大小精粗、戰線の一進一退を詳叙して簡潔明快を極めたるもの未だ本書の如きはあらざる也

■極東の外交 大正五年二月發行
極東に於ける外交は眞に我が帝國の隆替興亡を決する要點也今や列強の鋭牙利爪は極東に向つて研磨せらる而も隣邦の國情亦た見るに忍びざるものあり日本國民たるもの苟も國家の將來を思はゞ一日も極東外交の眞相を理解せずして可ならんや

■婦人問題 大正五年三月發行
既往幾千年間男性の寄生物として其の獨立的存在を認められざりし女性は俄に猛然として個性の權利を要求するに至れり是れ今日何人も看過すべからざる大なる問題也本書は諸文明國に於ける婦人運動の眞狀を明にし道徊の問題に一大鐵案を下したり

■現代米國 大正五年四月發行
交通機關の發達と國際關係の緊密は年を逐うて日米關係を接近せしめつゝあり故に米國を知るは現代日本人の最も重要なる任務の一也本書は公平詳審なる米國々情の記述にして又米國文明と米國人心の鋭利なる解剖也蓋し類書中見るを得ざる權威的著作也

■新藝術 大正五年五月發行
現代藝術は決して人生の附隨現象にあらずして直ちに人生夫れ自身也本書は即ち道般の事實を最も明瞭平易に説明したるものにして一面に於ては文學、美術、演劇等を通じて見たる新文明の批判にして他面には現代人の自己心理省察の簡潔なる記錄也

■獨逸軍國主義 大正五年六月發行
世界のあらゆる強國を敵手として敢然として戰へる獨逸の實力は實に其の軍國主義に依つて培はれたるもの也是れ何人も否定すること能はざる所也本書は此の軍國主義の本質を闡明し其の應用を討究して敢て敵上の利害得失を驗す所なく解剖批評せる大論述也

■滿蒙 大正五年七月發行
日本帝國の勢威は半島朝鮮より大陸に及び最近滿蒙に一の新利權を獲得せり即ち滿蒙經營の新任務は日本國民の双肩にかゝれる大事業也本書は此の新境土の政治、經濟、軍事一切の知識を基礎として其の經營を論述したる國運進展の指南車とも稱すべし

■最新科學 大正五年八月發行
現代文明の根柢は科學也而して科學の發達は文明の進歩と共に底止する所を知らざる也本書は人類の知識が物理學的、化學的、及び生物學的方面に於て最近如何なる點にまで進歩せるかを斯道専門の大家が最も通俗的に説明せる物質文明の顯闡也

■新聞 大正五年九月發行
新聞は輿論の代表にして輿論は新聞に依りて作成せらるゝこと少からず抑も此の新聞は如何にして作られ如何なる作用をなし又如何なる目的を有する乎是れ何人も詳知せんと欲する所也本書は現今著名なる新聞記者の虚飾なく又忌憚なき新聞解剖也

■極東の民族 大正五年十月發行
極東に覇を唱へんとする我日本帝國の依然相關すること最も深密なるものは極東諸民族の消長にあり本書は此の極東民族を歴史的、人種學的、政治學的諸方面より論述するものにして著者は當代無二の大家なれば其の價値に至りては敢て贅するの要なき也

■近時の經濟問題 大正五年十一月發行
現代社會のあらゆる現象中經濟問題の如く普遍的興味を惹起し得るもの少かるべし本書は最近各國家、各社會を通じて各人が瞩目せる幾多の問題に周匝なる說明と嚴正なる批判を加へたるものにして世界大戰其の他近時の經濟問題を悉く網羅して些の遺漏なし

見本無代即刻進呈

體裁 四六版、特製總クロース金文字入天金、極上美裝毎冊三百餘頁索引を附す
見本 詳細なる内容見本及規定は端書又は電話にて御申越次第即時進呈致す
締切 大正四年十一月三十日限
略規 本年十二月第一冊刊行入會金貳圓(但し會費内金)内地送本料は本社負擔す

大賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

越後大評定

第二十九席 早川貞水口演

奸臣共の悪謀

忠『コレ庭前なる罪人を、彌左衛門に討たせえ』○『彌左衛門殿、御主君の仰せ、早速御支度なさい』彌『主君の御諚とあれば是非に及ばぬ、未熟なれど然らば御免下され』御次室へ退り支度を致しまする 忠『ア、早々いたせ……コレ彌左衛門に庭下駄を取らせえ』○『ハッ』彌左衛門ズーッと廻らうとすると『其まゝ庭へ降りろ』と仰せられる、そこで御庭下駄を穿いて出て見ますれば、月は中空に冴えたることで晃壺の如く、此方は萬燈の如く、御雪洞が照らしてある如何なる罪人かと見ると、女の姿で御坐いまして、殊に裸體で懐妊の容子、白い布片を以て顔は包んであるから、何人か分らぬ、可哀さうに脚布一つ、それに八歳位になります男の子が、同じく顔を包まれ、固より猿轡をしてあるから、口は利くことは能はぬ、是とて何れの倅か更に分らぬ、流石の彌左衛門、偶然と思ふが如何とも致方がない『恐れながら如何なる罪を犯せし者かは知らざれども、見受けまするに此松の木に繋ぎありまするは女に子供、女は如何にも二十を超えたる者の様に見受けますが、子供は未だ十歳未満の小倅是たけは御赦し置かれたく』忠『コリヤ彌左衛門、決して偶然と思ふには及ばぬ、斬るべき罪を犯して斬るのぢや』彌『ハッ』……忠『其方は予の言葉に背くか』彌『ハッ、どう仕りまして』忠『然らば早く斬れッ』彌『ハアーッ』據ろなく、ギラリと抜き放つた一刀『コリヤ女、小倅、如何なる罪を犯せし者かは知らざれど、君命黙し難く、是非なく汝等両名を手に掛ける、是も何かの因縁ならん必ず上を御怨み申すなよ』小聲に云ひ『エーイッ』パッ、ブッツ、其美事な手の内 忠『ア、美事であるぞ、イヤ流石は酸物切の名人と云はれし其方の手並、能う斬り居つた、大儀く』彌『ハ、ハッ』刀は十分に拭ひ支度を更め、御前へ出ると 忠『ア、其方大儀である、老人のこと敬へ取らする……コレく、其方孫があつたな』彌『御意に御座います』忠『此の菓子は孫に取らせえ』彌『ハア有り難き仕合せ』孫は子より出でて子に優る愛なりと云ふ位、老人有り難く御菓子を頂戴いたし、御前を退る、若黨宇平治御供をして、屋敷へ御歸りになりますと自家が眞暗 彌『コリヤ藤や、只今戻つた、彌之助は居らぬか、女共は如何いたした』宇『只今旦那様御歸りで御坐います……御歸り……ッ』コリヤ旦那、眞暗になつて居ります、合點の行かぬこと』彌『ム、如何も怪しい』『是で御上りになり』彌『宇平治、燈火を……』宇『ハッ、心得ました』燧石箱を出して、燈火を點けろ、家の内は、土足で踏りましたものと見えて、亂暴狼藉、足跡などが殘いて居る、二人の女中は縛られて猿轡 彌『イヤー是はお徳、如何いたしたッ』宇『是はお金どん、何うしたんだ』金『ハイ旦那、大變で御坐います』彌『何う致した』宇『オイ、只戯を標へて泣いて居ちや不可え、何うしたッ』金『ハイ、旦那様が御登城あそばしました其後から、渥美様、野本様の御家来が御光来あそばし、御新造様、坊ちやまを御縛りなされ、御用であるから立てと、仰せられ何にも言はねでズルく御曳摺、御縛り申して御止め申さうとすると、私共まで此通、縛られまして御坐います』彌『エイッ』

大好評!! 演藝館福引 卅一日迄日延べ 仕掛大煙火 卅一日迄毎夕 京城協贊會

十一月一日九星 舊九月二十四日 丙申 本命 一白 北開 友引

[illegible]

演藝案内

壽座 日活 本町 電話五七八 十月二十五日より封切大寫眞提供 [illegible]

佐久良座 龍山 來る十一月一日初日開演 世界的大魔術 松旭齋天勝一行 『サラメ』大奇術 定めし大人氣ならん

御成座 成町 電話二九一 第四十八回替藝題 眞實の花 全十場 史劇『兒島高德』 全二場 淨瑠璃語り 大人小人（一人前）金五錢均一場代入らず早い勝 登場俳優手揃大車輪にて御覧に入れます

大正館 櫻井町 電話八七三番 當る十月廿八日より寫眞全部差換 ○新派悲劇『瀧の白糸』全三卷 ○喜劇『死の階段』[illegible]

黄金館 秋季特別大興行 十月卅一日より 英獨全土を震駭せる 軍事大活劇 ○十八號 舊劇 鎗持勘助武勇傳

有樂館 新築落成 本町一丁目 電話二六六 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 おなじみの鶯 甲齋虎丸來る 廿六日より毎夜六時開演仕候 [illegible]

大正館の特撰寫眞 ●新派劇 瀧の白糸 ●探偵劇 死の階段 ●舊演劇 祐天吉松

錦上更に花を添ゆ 當館辯士に付ては既に定評あり更に舊劇に藤本龍光を招聘し常得意の御贔屓に供す 巴賓 ●明日は天長節日曜に付 晝夜二回開演可致候 黄金館 龍光館

麻病梅毒療法に付て

[illegible]

治麻藥 一週分カプセル五十個入 金一圓二十錢 二週分 同 百個入 金二圓二十錢

治麻球 一週分カプセル五十個入 金六十錢 二週分 同 百個入 金一圓十錢

梅毒秘密療法に付て

[illegible]

根治丸 一週 金六十錢

擔任藥劑師 中島義次 助手藥劑師 渡邊力 京城南大門通五丁目 救世藥館

『賣藥』『製丸』『製藥』製造の依頼に應ず

御大典音譜景品附蓄音器大割引販賣 責任

[illegible] 特價金四圓九拾錢 （送料及び荷造費●金六拾錢）

帝國蓄音器商會 發賣元 大阪市東區南玉造町 電話東四八七番

家庭の娯楽品

理想の家庭

國民新聞社編 定價五十錢郵税八錢

辱 皇后陛下各宮殿下御嘉納

家庭博覧會入場者に限り（場内の賣店にて）定價の貳割引にて差出します

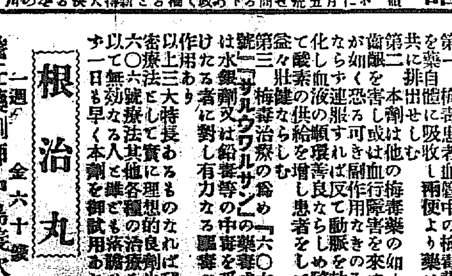
▲理想的家庭 德富猪一郎氏▲教育 下田歌子女史▲結婚 鳩山春子女史▲育兒 瀬川昌耆博士▲衛生 吉岡彌生女史▲交際 山脇房子女史▲住宅 伊東忠太博士▲中流の納戸と裁縫部屋 羽仁もと子女史▲室内の装飾 井上秀子女史▲庭園 長岡安平氏▲園藝 鈴木武太郎氏▲臺所 入澤博士夫人▲家庭料理 赤堀峰吉氏▲家庭經濟 嘉悦孝子女史▲下婢の使方 加藤博士夫人▲衣服 堀越千代子女史▲洗濯 宮川壽美子女史▲家庭の娯樂 巖谷小波氏

内容一斑

本社は現代斯道専門の諸先生が我國家庭の改良向上を圖らんが爲に住宅の建築構造より、育兒、衛生、家事、經濟の事に至るまで、家庭に必要なる百般の事項を細大漏さず叮嚀親切に講述執筆せられたものであります。加之前記各題目の後には家庭便覽として家政上最も大切なる種々の心得を記載し、尚諸先生考案の鮮明なる寫眞版を挿入してあります。是非主婦計りでなく家政研究中の女學生諸嬢の、是非共一册を左右にせらるべき最新刊の良書でございます。

大取次所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

ベルベット石鹸



此の函の色は深紅です 何處の化粧品店にもあります 是非御試しを願ひます

V3-B. 製造元 日本リバーブラザース株式會社

眼科専門

京城本町六丁目（元軍司令部通り） 金井眼科醫院 電話一五五六番 院長 金井豊七

冷御發賣

醸造發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎

特約販賣店 京城本町二丁目 佐藤牧太郎 同 本町三丁目 明治屋支店

滿蒙處分論 クロパトキン將軍原著 日本大非色高譯 定價金一圓 郵税本社負擔 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

故長女八重子葬送之際は御繁用中遠路御會葬被成下難有奉謝候混雑中乍略儀紙上を以て御禮申上候

十月二十九日 仁川新町 父 美濃谷榮次郎

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

秀吉丸 十月 日 後四時出帆

君が代丸 十月 日 後四時出帆

神代丸 十月 日 後四時出帆

大有丸 十一月二日 後四時出帆

第二太湖丸 群山、大阪行 日 後五時出帆

土海丸

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行

淡城丸 十一月六日 午後五時出帆

須磨丸 十一月三日

汕頭丸 十一月十一日

○木浦、釜山、長崎行 ▲は鎮南浦に寄港

安東丸 十一月九日 午後二時出帆

▲天智丸 十一月三日

○鎮南浦、大連行

安東丸 十一月五日 午後二時出帆

天智丸 十一月 日

○木浦、神戸、大阪行

薩摩丸 十一月二日 午後五時出帆

○群山、釜山、横濱行

千珠丸 十一月三日 午後四時出帆

チヨイサン丸 十一月十四日

○大連直行

千珠丸 十一月廿八日 正午出帆

チヨイサン丸 十一月八日

○清津、浦潮行（元山出帆）

▲は城津西湖津に寄港

久丸 十一月十八日

宮丸 十一月十九日

▲城津丸 十一月四日 午後三時出帆

○上海、基隆、打狗行（大連出帆）

新高丸 十一月十六日 午前十時出帆

安平丸 十一月六日

御注意 ○朝鮮沿岸及南滿洲線連絡の船車運賃は… ○×印は一等客御斷り ▲印は船客御斷り

京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番 仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行

三河丸 十一月八日 正午出帆

相模丸 十一月 日

○大連、太沽行

高砂丸 十一月廿二日

仁川海岸町一丁目 電話十番 堀回漕部

朝鮮郵船

全羅丸 十一月四日 釜山發

京畿丸 十一月十四日 釜山發

咸鏡丸 十一月十八日 釜山發 門司より釜山各港寄港雄基間のこと

慶尚丸 十一月 日

昌平丸 十一月三日 元山發

城平丸 十一月 日

鏡城丸 十一月五日 元山發 元山より各港經由雄基港

能登丸 十一月十日 元山發

忠清丸 十一月 日 元山發

永興丸 毎月廿八回 元山發

嘉島丸 十月 日 釜山發

江陵丸 毎日 （釜山浦項）發

襄陽丸

三浦丸 十一月二日 釜山發

海州丸 巨済丸 慶寶丸 毎日 釜山發

統營丸

順天丸 三日目毎 木浦發

慶興丸 十月 日 木浦發

公州丸 十一月二日 木浦發

宗信丸 十一月五日 仁川發

江原丸 十一月二日 仁川發

麗水丸 晋州丸 十一月二日 仁川發

全州丸 南陽丸 毎日午前 仁川發

平安丸 十一月十六日 群山發

京城南大門通前 松原運送店 電話一一三三

阿波共同汽船仁川出帆

第共同丸 十一月 日 後二時入港 日 前九時出港 芝罘、大連行

鶴丸 十一月四日 後九時出帆 元山出帆 城津、清津、浦鹽行

第三共同丸 十一月 日 前八時出帆 西湖津沿岸各港を經て雄基行

阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 [illegible]

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十一月十六日 後五時出帆

○元山城津浦鹽行 小倉丸 十一月四日 後十時出帆

○門司、神戸、大阪行 立神丸 十一月九日 後五時出帆

○元山、清津、浦鹽行 立神丸 十一月十八日 後十時出帆

○元山、西湖津、新浦、城津、浦津行 第三琴平丸 十一月十一日 後九時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十一月二日 後六時出帆

○佐須奈、厳原、勝本、博多行 天眞丸 毎月三日、九日、十五日、廿一日、廿六日 午後十時出帆

大池回漕部

仁川期米 [illegible]

後場 [illegible]

大阪米報 [illegible]

移出米の其後 [illegible]

保 [illegible]

三十日の十一月限 [illegible]

京城日報
年中無休刊
(第二千九百二十八號)

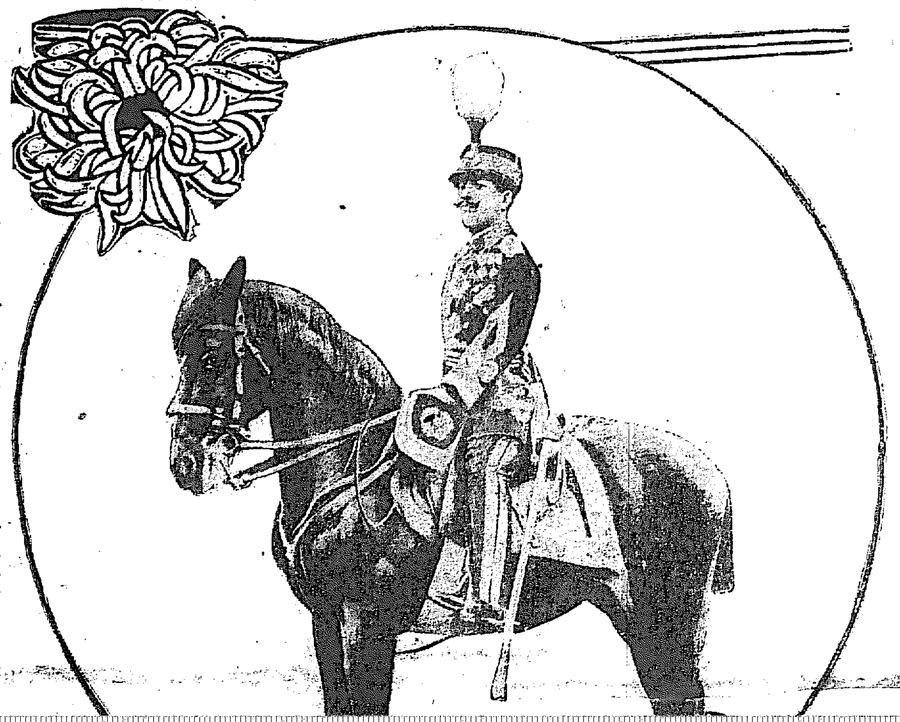
聖壽无疆

天長祝節

本日は 今上陛下第三十七回御誕辰の祝賀節に當り、上下を擧げて聖壽の萬歳を祝福し奉るべき佳辰也。殊に本年は諒闇の空、隈もなく霽れ渡り、畏くも 踐祚登極の大禮を萬民歡呼の裡に擧げ行はせらるゝの年也。此秋に於て天長の佳節を祝する、須らく菊杯を擧げて 皇謨の無窮を壽ぎ奉るべき也。

今や帝國の勢威隆々として八紘に輝やき、文進み武揚り、普天率土王化に霑はずこ云ふことなし。偏に維れ 今上陛下が 先帝の遺業を繼承し給ひ至仁至愛の大御心を以て蒼生を撫養し給ふところ、山岳の高峻にして動かざるが如く、日月の眞明にして普く照らすが如く、聖徳無限、億兆の瞻仰し天下の歸往する、未だ斯くの如きはあらざる也。

然れども、天の一角を望めば歐洲の戰塵未だ戢まらず、果して何の日にか世界の變局其の落著を見るを知らず、帝國の前途は洵に多事多忙なりこ謂はざる可らず。茲に清涼素秋の節、菊花を採て 聖壽の萬歳を高唱するに方り、吾人の感慨實に深甚を極む。吾人は未だ曾て覺えざる滿腔緊張の心を以て謹んで此の佳辰を迎へ奉る。



天長節の御事共

本日は、天長の佳節にして、普天の下、草刈る童も、率土の濱に圖沒む海士も、何れも君が代の、千代に八千代にさゞれ石の、巖となりて苔のむすまで、彊なからん事を、祝ひ奉らざるはなし。謹て案ずるに、天長節の御儀は、明治六年一月二日の御布告を以て始り國〻健勤かず、聖壽涯なきが故に、國民一般の奉祝は年と共に階々盛となるに至りぬ。洵れ承る處によれば、

此の日宮中 賢所 皇靈殿 神殿に於て、御祭典を行はしめ給ふ、當日早旦、御殿の御裝飾を奉仕し、午前九時に至り式部職員官員著床、奏樂裡に 賢所 皇靈殿 神殿を開扉す。賢所 皇靈殿には、折敷高杯六本、立折櫃二十合、酒二瓶の神饌を供し。更に奏樂裡に 神殿には飯餅、海魚、川魚、海菜、野菜、菓、鹽水(御盃)、以上調理八臺並に酒二瓶の神饌を供し、祝詞あり。次で 陛下の御代拜進みて、御玉串を捧げられ 皇后陛下の御代拜同く御玉串を捧げらる次で 皇太子殿下の御代拜御玉串を捧げられ、次に宮內省勅任官總代の拜禮、同奏任官總代の拜禮、掛判任官の拜禮を畢りて、奏樂裡に神饌を撤し閉扉す。謹で此の御儀式を案ずるに 賢所は、天照皇大神が、吾を視るが如くすべしと宣ひて、皇孫尊に授け給ひたる神鏡を 崇神天皇の御宇に模造し給ひ、後之を奉安せしめ給へる古の內侍所にして 皇靈殿は 皇祖以來歷朝の 皇后、皇妃並に皇親を祭らせ給ふ御殿なり 神殿は、八神天神地祇を祭らせ給ふ御殿なれば、天長節の御儀式として 賢所 皇靈殿 神殿に御祭典を始め奉り 皇祖 皇宗及び 皇神等を祭りて、申べさせ給ふ所以なるべし、と恐察し奉る。されば臣民一同 聖天子の垂れさせらるゝ模範を仰ぎ、之を敬し、之を體し、各其誕生日に當りて、先づ祖先を記念し、其本に報ずることを心掛けざるべからざる也。

尚ほ 聖上には、午前八時三十分、鹵簿第一公式にて、青山練兵場に行幸、親しく觀兵の式を行はせ給ふ。

[illegible]

定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 [illegible]
京城 [illegible] 發行所 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

(第三版) 明治三十九年八月十日 第三種郵便物認可 THE KEIJO NIPPO 大正四年十月三十一日(日曜日) (一)

聖壽无疆

天長祝節

本日は 今上陛下第三十七回御誕辰の祝賀節に當り、上下を擧げて聖壽の萬歳を祝福し奉るべき佳辰也。殊に本年は諒闇の空、隈もなく霽れ渡り、畏くも 踐祚登極の大禮を萬民歡呼の裡に擧げ行はせらるゝの年也。此秋に於て天長の佳節を祝する、須らく菊杯を擧げて 皇謨の無窮を壽ぎ奉るべき也。

今や帝國の勢威隆々として八紘に輝やき、文進み武揚り、普天率土王化に霑はずこ云ふことなし。偏に維れ 今上陛下が 先帝の遺業を繼承し給ひ至仁至愛の大御心を以て蒼生を撫養し給ふところ、山岳の高峻にして動かざるが如く、日月の眞明にして普く照らすが如く、聖徳無限、億兆の瞻仰し天下の歸往する、未だ斯くの如きはあらざる也。

然れども、天の一角を望めば歐洲の戰塵未だ戢まらず、果して何の日にか世界の變局其の落著を見るを知らず、帝國の前途は洵に多事多忙なりこ謂はざる可らず。茲に清涼素秋の節、菊花を採て 聖壽の萬歳を高唱するに方り、吾人の感慨實に深甚を極む。吾人は未だ曾て覺えざる滿腔緊張の心を以て謹んで此の佳辰を迎へ奉る。

天長節の御事共

本日は、天長の佳節にして、普天の下、草刈る童も、率土の濱に圖沒む海士も、何れも君が代の、千代に八千代にさゞれ石の、巖となりて苔のむすまで、彊なからん事を、祝ひ奉らざるはなし。謹て案ずるに、天長節の御儀は、明治六年一月二日の御布告を以て始り國〻健勤かず、聖壽涯なきが故に、國民一般の奉祝は年と共に階々盛となるに至りぬ。洵れ承る處によれば、

此の日宮中 賢所 皇靈殿 神殿に於て、御祭典を行はしめ給ふ、當日早旦、御殿の御裝飾を奉仕し、午前九時に至り式部職員官員著床、奏樂裡に 賢所 皇靈殿 神殿を開扉す。賢所 皇靈殿には、折敷高杯六本、立折櫃二十合、酒二瓶の神饌を供し。更に奏樂裡に 神殿には飯餅、海魚、川魚、海菜、野菜、菓、鹽水(御盃)、以上調理八臺並に酒二瓶の神饌を供し、祝詞あり。次で 陛下の御代拜進みて、御玉串を捧げられ 皇后陛下の御代拜

婦人風俗 十七號
御大典實況號
閑院宮女王殿下御新婚記念
久邇宮各殿下
宮參拜の徳川公三令孃
日本の風俗のさま〲
閨秀畫家の文展製作
結び方と技藝の婦人
何處に行く?(受賞百人)
小說「山椒太夫」第二回
歌魂……文學博士幸田露伴
雨中の梅棠……戶川殘花
花と事ども……與謝野晶子
家運挽回……片岡信子
暗示を得た西歐婦人風俗……日向きむ子
科の秋月……雪曙樓主人
所から見た求婚の男女……下山京子
磨の家(木版より)……渡邊默禪
定價四拾錢 郵税二錢
東京本町 博文館

記念
金町二丁目(電話二五四五番)
田中吉太郎
御一報次第迅速に取計可申候

形容器
にして側面は金色燦爛優美の記念品也
記念とせられよ!!!
(一個金三十五錢)
販賣す
安藤井筒堂
新井大藥房

列強大戰亂電報

▲媾和談判參加權確保

帝國の三國規約加盟後報

歐洲大戰起りて間も無く英露佛三國政府は協議の末現戰爭中は單獨に媾和せざる可き事を約し千九百十四年九月五日倫敦に於て英國外相及び露佛大使との間に調印を了したるが今回三國政府より駐英井上大使を經て三國規約に加盟方勸誘ありたるを以て帝國政府は本月十九日井上大使をして該規約に加盟の旨を通告し石井外相は左記の如く三十日外務省告示第四十一號を以て其旨を公布せり因つて帝國は本規約の加盟に依り明白に歐洲戰爭の媾和談判に參加するの權ある事を確保するに至れり(東京特電)

外務省告示第四十一號

本月十九日駐英帝國特命全權大使と英國駐剳佛露兩國特命全權大使及び英國外務大臣との間に左記公文を交換せり

(前略)佛露英三國政府間ニ調印セラレタル宣言ニ日本帝國政府ノ加盟スルコトヲ閣下ヲ經テ表明相成ル樣勸誘方同政府ニ申入ルヽノ光榮ヲ有シ候

該宣言ノ文言ハ次ノ通リニ有之候

下名等ハ各其本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ茲ニ左ノ通リ宣言ス

佛國露國及ヒ英國政府ハ現戰爭中ハ單獨ニ媾和セサル可キ事ヲ相互ニ約ス

右三國政府ハ媾和條件ヲ議スル場合ニ於テ何レノ同盟國モ豫メ他ノ各同盟國ノ同意ヲ經スシテ媾和條件ヲ要求セサル可キコトヲ約ス

右證據トシテ下名等ハ本宣言ニ署名調印ス

一千九百十四年九月五日倫敦ニ於テ本書三通ヲ作ル

佛國特命全權大使 ポール、カンボン
露國特命全權大使 ベンケンドルフ
英國外務大臣 イー、グレー

日本國特命全權大使閣下

右回答トシテ日本政府ハ本宣言ノ各條項ヲ充分且完全ニ加盟ス可キ旨閣下等ニ通報方本使ハ本國政府ヨリ委任ヲ受ケタルコトヲ茲ニ申進ムルノ光榮ヲ有シ候

一千九百十五年十月十九日倫敦ニ於テ 井上勝之助

英國駐剳佛露兩國特命全權大使閣下
英國外務大臣閣下

▲平和交涉無し

英國軍需大臣ロイド、ジョージ氏は下院に於て質問に答へて曰く倫敦伯林露府間に今日迄に平和に關する交涉あることなくギルドホールに於てなせる首相アスキス氏の言は今尙ほ有效なり吾人は我聯合國の同意あるに非ざれば如何なる國とも媾和談判をなすことなかるべしと宣言せり(倫敦電報)

▲希臘公使證言

巴里來電に依れば駐佛、希臘公使は佛國外相に對し證言して曰く希臘政府は決して英佛兩軍に對して敵對行動をなすの意志なく獨逸新聞の極力流布する風說は虛報なりと(倫敦電報)

▲ヴ將軍英訪問

倫敦來電に依れば佛軍司令官ジョッフル將軍は倫敦を訪問し陸軍大臣キチナー元帥と共に陸軍省を退出するを見受けたり(紐育電報)

▲露獨交戰猛烈

ヴン、ゾノウカの東北に於るドウキンスクの戰線に於て獨軍は露軍の數箇の塹壕を占領せるが猛烈なる露軍の逆襲に依り更に擊退せられたり二十七日チヤラトリスクの西方に於て敵が三回に亘りて行ひたる攻擊は擊退せられたり黑海に於て露國航空隊はヴァルナの砲臺及び港灣に爆彈を投下せり敵の潛航艇は露國軍艦を攻擊せるが奏効せざりき(露都電報)

◎皇帝推戴打電

段奉天上將軍は三十日國民代表慰勞午餐會を開きたり此日國民代表及奉天省一千餘名連署國體即決袁皇帝推戴を立法院へ打電せり(奉天特電)

◎文武官叙位

三十日午前十時宮中に於て文武官華族七百九十九名に對し叙位式を行はせらる其重なる者左の如し(東京特電)

從四位伯爵 松平頼壽
從四位勳三等伯爵 小原銈吉
從四位勳二等法學博士 木場貞長
叙正四位(各通)

◎寺內總督參內

寺內總督は三十日午前十時參內御座所に於て天皇陛下に拜謁仰せ付け

られ總督府管下の現狀を伏奏し十時半退出直に青山御所に參伺皇后陛下の御機嫌を奉伺し退出せり(東京特電)

◎總督へ御下賜

天皇陛下には二十九日上京したる寺內總督御慰勞の思召を以て三十日左の通り御下賜の御沙汰ありたり(東京特電)

一、淸酒 一荷
一、交魚 一臺

◎參政官任命

正副參政官たる大隈信常、小山谷藏の三氏柴四朗、に對し三十日左の如く任命ありたり

正五位勳四等 柴四朗
任外務省參政官(高等官一等)
文部省副參政官兼總理大臣秘書官正五位 大隈信常
任外務省副參政官(高等官二等)
正七位 小山谷藏
任文部省副參政官(高等官二等)

◎帝國政府の警告

帝國政府は支那政府に帝政延期の勸告をなしたり

外務省より二十九日午後北京政府に送りたる警告理由を只今發表せり其の大要左の如し

支那に於ける國體變更の計畫は近時着々其步を進め今や急遽發展して之れが實行將に目前に迫らんとするもの〻如し(中略)今日親しく支那の實勢を見るに各地を通じて帝政實現に向ひ大なる反對なきが如き外觀を呈すと雖も帝國政府の有する情報に依れば右は多くは表面の情勢に止まり裏面反對の感情は事實意外に廣くして不安の氣勢漸く各地に瀰漫しつゝあることを否むべからず(中略)今大總統にして俄に帝政を樹つるが如きことあらんか或は前記の反對の氣勢立ろに勃發して意外の動亂を誘起し折角平靜に向ひつゝある支那の各地をして再び不安危險の域たらしむるに至ることなしと云ふべからず況んや世界の形勢より見て今日支那に此の危險なる狀況の促進を見るが如きは世界大局の利害に鑑み帝國政府の憂慮に堪へざる處なり(中略)大總統が能く大局に顧み其の國體變更の計畫を延期し以て禍亂を未然に防ぎ極東平和の基礎を堅うするの最も賢明なる措置に出でられん事を友誼的に勸告するにあり(下略)(卅日正午東京特電號外再錄)

◎三國勸告と特別會議

二十九日午前陸外交總長は袁總統に謁して日、英、露の勸告につき委細報告の後諸方面の人々集合特別會議を開きたり(北京特電)

◎警告を聞かざるか

國體變更は外國の干涉を受けず三國の警告には感謝の意を表するのみ

北京外交部員の語る處に依れば國體變更は外國の干涉を受けず唯國民の意志如何によりて決すべき問題なれば國民代表の投票如何によらざるべからず之れが爲め外國人に損害を被らしめざるは保障すべし但し日、英、露の勸告に對しては同一の形式を以て感謝の意を表すべく尙ほ今回の勸告は日、英、露の三箇國が步調を一にし唯佛國の加はらざりしは日露同盟問題の實現するに非ずやと(北京特電)

◎共進會の反響

杉原氏の復命

十月十五日京城に於ける全國商業會議所及び滿洲實業團大會に東京商業會議所を代表して出席したる同所副會頭杉原榮三郎氏並に常議員角倉賀道氏は歸東後本月二十日付を以て會頭中野武營氏へ宛て復命書を提出したり其內容を摘記せむ

十五日午前寺內總督山縣政務總監官邸を歷訪し次で總督府に出頭山縣政務總監に面會せるに總監は大に不肖等の出張を喜ばれ親ら紹介の勞を取り總督に會見せしめらる乃ち中野會頭差支の爲め不肖等委員として大會に出席せる旨を陳べたるに總督は其意を了し且つ懇切に朝鮮の事情を說明されたる上內地實業家續々渡鮮されたしとの希望を述べられたり

次に大會の狀況を叙し十六日支那貴賓の京城に著するに際し東京會議所を代表して出迎へたること其他各所參觀の次第を叙したる後本社來訪の事につき『此日京城日報社の招待により同社參觀社員の款待を受け且つ今後朝鮮の事情に對し更に消息を盡し東京商業會議所月報にも朝鮮記事の一欄を作るべきを協議』せる旨を述べ最後に左の如き所感を加へり

▲成功せる共進會 以上の如くにして朝鮮に於ける官民諸氏の一致せる好意により大會出席者の厚遇優待盡さゞるなく特に鮮人女子高等學校を視察する等便宜を得たること尠からず且つ貿易其他鮮地に於ける商業狀態を親しく視察するを得たるは關屋學務局長、宮木關稅課長、太田女子高等學校長等に對して多謝する所なり共進會の模樣に付ては其設備の完全にして殊に陳列の順序方法體裁等主として巡覽の便利自由を謀り些の倦怠なく愉快に觀終らしめん點に著眼されしもの〻如く光線の工合等亦最も注意され出品には一々說明を附する等大體に於て實に從來會て見ざる成功を示し進步を證せるは感服する處なり宜なるかな豫期以上の成績を示せる偶然に非ず

▲矚目感想 終りに鮮地の矚目に就て所感を述ぶれば京城を初め釜山等は僅々數年間にして面目一變し交通機關及び港灣設備等間然する處なく余は明治二十二年來前後七回渡鮮したるが近く五年の進步は實に驚くべく山川草木其趣を代へ至る處綠蔭の蔚然たる將來を期待せしむるが如き快感禁ずる能はざるものあり鮮人の風俗亦一變し惰情漸く地を拂はんとし藝術として路傍に橫臥し晏如として暖日を逐ふが如き未開の舊態は復觀るべからざるに至れり朝鮮に於ける各般の企業は是より著手せらるゝも決して遲しとせず農に商に殊に棉花栽培硝子業陶磁器業其他雜貨に至るまで能く彼地の嗜好を斟酌し彼地に根據を作りて徐ろに力を滿洲にまで伸べんことは最も有望なりと信ぜらる而して是等諸般の企業は今日を以て最も好機とすべきか云々

◎水產試驗成績(下)

三大試驗の結果

▲製造試驗 寒天製造試驗は慶尙北道大邱及び全羅南道長城郡兩試驗所に於ける大正三年度の寒天製造試驗に在りては本年三月を以て之を終了し製品約三千五百斤を得、此賣價格二千七百餘圓にして百斤平均七十八圓となり之れを前年の七十三圓に比すれば五圓の昂騰を示し其成績愈々好良なるを認め一方民間に於ける斯業は益々發展の傾向あるを以て大正三年度限り兩試驗所は之を廢止して民間の事業に移すことゝなせり、尙ほ本年は角寒天の製造適否其他に付き右試驗所を承繼せる製造業者に委託試驗をなす可き豫定なり乾貝製造試驗は貽貝及び北寄貝に付き之を行ふ斯種貝は共に咸北道沿岸に棲息すること多く北寄貝は從來多少之れを採捕製造するものあるも貽貝は全く之れを捨てゝ顧みざる狀況なりしを以て七八月中海底探險に伴ひ其潛水器の採捕に係るものを原料として同道慶興郡廣面火津に於て共に支那輸出向に適す可き煮乾品の製造を試驗せり、其製造高貽貝百三十五斤、北寄貝八十六斤にして該製品の輸出品としての適否に付ては更に調査す可き豫定也、小鰕利用試驗は平安南北道沿岸に饒產する白鰕親鰕等は之れを乾製品と爲すときは支那向輸出に適するに拘らず從來多く醢辛等の釀造品として主として朝鮮內の需要に供するに過ぎざりしを以て平安北道定州郡新山面二里に於て本年五月より六月に亘り之れ等小鰕類を原料として之れが支那輸出向摺鰕及び煮乾品としての適否を試驗したるが其成績良好にして鰕類は斯種製品の原料として頗る良好なるを認めたり、尙ほ製品の需要狀況等に就きては目下專心取調中なり

◎共進會賣約高

共進會にては九月二十七日より出陳物に對する賣約を開始せるが十月二十八日迄の賣約高を聞くに總計一萬八千百九十七圓九十三錢九厘にして最高額の賣約を得しは參考館の八千二百五十七圓餘第六部の三千七百十五圓餘等なるが右賣約品の引換は十一月三日より開始し七日迄に全部引換を終了する筈なりと云ふが最も右引換券は十日迄有効なりと

◎道面洞里廢合終了

京畿道にては道府郡面廢合後引續き各府郡の町洞里廢合に著手しつゝありしが二十八日附京畿道告示を以て高陽郡楊平郡加平郡抱川郡漣川郡の六郡に於ける洞里の廢合を發布したり之を以て京畿道に於ける町洞里の廢合は全部の終結を告げたり

◎共進會と電氣會社

共進會開會中に於る京城電氣會社の營業成績を聞くに電車は開會と共に六十九臺を運轉し平日の平均收入九百圓に對し約五百圓を增加し一日一千四百圓內外の好成績を收めたれは五十日間と見積り二萬五千圓の增收あり又は電氣は開會と共に需用多大の增加を示したるも何分割引其他の特約を結べる爲め世人の見るが如く收入增加せず先づ平時に比し約一萬圓の增收と見れば大差無かるべしと

◎市俄古大學教授渡鮮

市俄古大學教授フレデリックスタール氏は目下日本內地旅行中なるが神社研究の目的にて後者二名と共に近く渡鮮す可

人事消息

▲小寺房次郎氏(工學博士) 二十九日夜入京(京城ホテルへ投宿)
▲飯島純介氏 三十日夜入京(朝鮮ホテルへ)
▲シーシー、チヤプマン氏(米國實業家)同上
▲リー、ダブリユーピツトキン氏(同上)同上

◎號外添付

三十日夕刊にて帝國政府の支那政府に致せる警告內容電報號外を添付せり

◎總督府公文附錄(本日附錄)

東西南北

…れた男は鰻を獲る目的で河狩りをして居つたのである▲紐育新聞の號外 …紐育で一番高い三十七階の建…

冬物荷揃

1 メリヤスと足袋 大々的大安賣 はどんな品にても取揃居候

2 ショール、毛布、ラシヤ製品、厚司ネールシャツ、洋服附屬品

地方よりの御注文は敏速確實引換小包にて御送り致し候

足袋 メリヤス 雜貨

京城本町一丁目 (イ)鈴木支店 電話一八七二番

▼營業者に限り卸定價表進呈▼

御大典記念祝盃

三ツ組桐箱入
大 直徑四寸
中 直徑三寸五分
小 直徑三寸
朱塗金襴金蒔繪鳳凰麒麟八咫御鏡 記念文字入
(ロハ)質保險付
右は壹千組限り實費金壹圓貳拾錢(送料荷造共)にて分讓可致候間望みの方は御申越次第引替小包にて御送附可仕候
仁川濱町 京日仁川代理部 電話二四〇番

金牌受領

於共進會弊店出品の貴金屬製作品に對し名譽ある金牌を受領せり

美術貴金屬品製作 京城本町一丁目 高木勇 電話九九一番 振替九〇〇番

大擴張

共進會觀覽者には特に御便宜叮寧に取扱申候

京城南大門驛前 武藏旅館 電話二三六四番

呉服店 京城黄金町三丁目 丸一綿部 電話二三三一番 振替三六五

毛布 薄利多賣

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四二番

入院隨意 普通病室並隔離病室

院長 醫學博士 古城憲治

尿。便。血液。喀痰等臨床的檢査の依賴に應ず(每日五名を限り無料…)

は千辛萬苦の人間から餘多ないと言はれるのを憤慨し神戸で二人の少女を誘拐し自分の宅へ連れ込み前後四箇月間の長きに亘り弄んで居つたのと言ふから其復讐のためである [illegible] 事が出來なかつたと言ふ [illegible] れた時世間の奴がな [illegible]

[illegible] 兵庫縣飾磨郡菅野 [illegible] 刻苦精勵の結果を以て [illegible] 冠を戴いたのである▲四月 [illegible] 百日目位より座敷中を這ひ廻り例の親もホト〳〵持て餘して居る▲鰻 [illegible] を過ぎたる頃よりメキメキ [illegible]

物のエレベーターがどうした機みか中途で動かなくなつたする市中の各新聞は爭つて號外を出し第一には一階今エレベーターに遂に往生せ [illegible] ふべしだ▲赤十字社 [illegible] たものである▲番に落籍して落命 [illegible] 社の集會に飛んでもない騷ぎを醸つ [illegible]

大共進會

入場無料の第二日
高塔に張つた綱の上から福券

百三十尺の高塔東亞の廣告塔上から共進會成功塔の上に太い綱が引き渡され、兩塔から四方に張られた萬國旗が風に飜る下に黒山の如く集つた群集は、お猿さんの綱渡り、福券撒きの藝當が開催されるのを今か今かと待つて居る、折しも廣江商會の奇抜な職工裝行列が乗り込んで賑ひを添へる、李王職音樂隊の奏樂が始る、軈て午後二時十分用意萬端整つたお猿さんは協贊會事務員の案内で共進會廣告塔の塔上に御登攀相ひ成り二間餘の『祝共進會の成功』と朱で筆太に記された看板を足にぶら下げ、頭上に萬國旗を十字に交叉した金網の中に鎮座ましましたまゝ觀衆の上空に搖らり搖らりと歩を進め給ふ、事務員の手で手繰りつ伸しつする綱につれてお猿さんの籠が上下左右に搖れるにつれて雪の如く、落花の如く散る福券が大群衆の上に踊り且つ舞ふ、と幾千の觀客はそりや福だ〳〵と先を競ふて我れ勝に福券を拾ふ、帽子が飛ぶ、子供が泣く、エッショ〳〵野次馬が騒ぎ立てる、お猿さんは共進會の成功塔と東亞の廣告塔の間を上に下に幾度も往復あらせられる、その往復の度に撒かれる福券數千枚は片端から一等から五等までの景品と引換へられる、斯くて大賑ひの裡にこの珍妙な餘興を全く終つたのは午後三時頃であつた

店員職工デー

卅一日の共進會閉會式當日を以て協贊會にては『店員職工デー』と名付け商店、工場の名刺、或は證明書を有する者に限り畜角力館を休憩所に當て茶菓を饗應し演藝館の進間興行を半減し一人殘らず記念の繪はがきを寄贈する由、尚ほ當日は天長節につき市中にて出し物、催し物等の計畫あらばその共進會乗込みを大いに歡迎し接待につとむ可しとのとなり

今夜の煙火

共進會最終日の夜間を賑す可く京城協贊會では煙火大會を慶會樓畔で開催する、同夜は從來の打揚げの時に三河煙花の寄附もあつて同池畔には七臺の仕掛煙花を用意してあると云へばその紅紫、黄白の花と散り星と光る彩火、水に映り天に冲する光景は大美觀、大壯觀を呈するであらう

何が賣れた乎
共進會と鮮人街

共進會のために内地人商店側は料理店宿屋飲食店人力車夫等が大當りのことは既に報じたが朝鮮人側も尠からず賣揚高の増加してゐることが見受けられる大抵平素より少くも二割乃至五六割の増收で高價な物より安物の賣れ行きがよかつたらしい先づ

仕立物 は相當繁昌を極めてゐる家で普通一日五圓內外の賣揚高が約二割を増して毎日平均七八圓に達し最も捌けたのは鮮人用のチヨツキと安物の周衣であつた

小間物袋物 では一圓內外の安物毛布が意外に捌けズック靴、財布、朝鮮白粉、縫針など物が生えて飛ぶやうに田舎の地方から共進會見物に出て來た者の土産物として捌ける好況を呈した

寶玉金銀細工品 等も平素に比し非常な賣行きで華奢を好む朝鮮人の趣つべらな装飾品としては最も向き物で [illegible] 品であつた先づハイカラな眼鏡、煙管、帽子、婦人髪飾指輪、鞋などが賣れた方で

布木店 では三割五分位の收入増額で金巾の賣れ方は夥しいものであつた是は皆朝鮮人男女の着物用である尚帽子屋では鳥打と中折とが最も捌けた相で昨今帽子の如きも內地人同樣なものを用ひ田舎から初めて京城に出たものも珍しげに流行といふ所から共等の帽子を買つて歸る者が多い

靴屋 でも大繁昌といふ所で總じて安物が歡迎され殊に鮮人幼兒物が土産品として甚だ賣れた次第其他金函品として呑烟や火鉢なども比較的捌けた（つゞく）

乗馬大會
京城乗馬倶樂部の秋季大會

京城官民紳士により組織されたる乗馬倶樂部の秋季大會は三十日午後一時半より大和町

警務總監部 內の馬場にて開催されたり、此日午後からは空模様もガラリと晴れて先づ第一班騎者の馬上體操、速歩各個運動、駈足等が始まる頃には正面小高き處の憲兵隊司令部前に來賓席から盛んなる拍

花の如うな 家族の人々が起り來賓には山縣政務總監、芳賀總督府病院長、白井古海兩少將始め總督府の各高官や並びに外國領事團の家族の人々が何れもニコ〳〵然として控へてゐる、騎者には亥角、ハーン、神田、澤崎、尾崎、佐瀬、伊藤、永野、倉橋、植松、坂本、佐々木の諸氏が現れたが何れも大喝采を博した、第二番には

騎動輕乘の 巧な技術があり、第三には飛入り白井少將と會計課長、目野、淵連內、山田、田中、關屋、村田、穂積諸氏の各個運動並に馬上體操が試みられたるが其の間に倒れ務課長が突然落馬して尻餅ついたのは御愛嬌であつた、第四番目に現れたるは各調馬師の試乗であつたが騎者には藤原、永田、松野、牧野、岡本、保坂の諸君が

其の妙技を 見せた、又第五番目には會員小松、藤川、菱田、奥谷、森脇、飯塚、村田諸君の高等馬術が行はれたるが何れもよく揃つて立派なものであつた、さて第六番の來賓騎乗には

立花將軍 始め白井、古海兩少將、大塚憲兵少佐、大田憲兵大尉、齋藤憲兵大尉、町口騎兵大尉の各氏へ入から關谷總務局長、森警務部長、菱田通譯官等の勢揃ひにて現れ何れも腕に覺えの人々とて拍手大喝采裡に技を終へたるが次で當日の白眉たる

陸軍騎兵の 高等馬術が始まり騎兵第九聯隊の騎兵二十四名が各自紅白、青白の槍旗を飜して馬首を立て縱横馳形自由自在に馳驅したのは非常に壯麗な美觀であつた、尚は一番お終に野村助教のスペイン乗が試みられて此の大會を了りたるが猶ほ場內に設らへられたる天幕內で茶菓の饗應があつた

尾崎氏より壁上

阿澹が浦の販制 拝啓朝鮮中の御厚情奉深謝候今夕武運轉明廿八日發行の豫定に御座候、阿澹が浦にいかでかゝる可きやと今より楽しみ居り候末筆ながら京城府民諸君並に貴社各位の御健康を祈候匆々

鷄林の山河は悲し天翔る
人の子さへも秋を知りつゝ

英帝安靜

落馬せられたる英國皇帝は二十八日夜來安靜狀態に渡らせられ居れりと（倫敦電報）

福引二本宛
本日の家庭博

現金及び高價の物品尚は多數あるに付本日の入場者には先著順にて一人二本宛（但し半額券は一本）の當り籤を進呈す早い者勝ち也景品のありつたけ全部提供す

家庭博覽會

お終ひの家庭博
福引は二本宛＝今日でお終ひ＝之れで見納め

何んと云つても今日一日となつて了まつた、未だ見ぬ人も一度二度見た人も今日の天長節を祝ふて最後の共進會と家庭博を見ねばならぬ、**最後の日の家庭博**には**京城生粹の妓生**廣橋茶舗組合の選り抜きの妓生十名が後庭の舞臺に現はれ歌と踊りを演じながら場內を練つて廻はる、觀覽者は其の妓生の名前を記して人氣投票をすると云ふ趣向、それから**今日の家庭博の評判の大福引**は本社提供の一等より四等までの景品と物品の外に各商店寄贈の品々は堆く積むで山の如く、實に大したものである、折角の此品々を明日まで殘したつて何んの仕様がない事だから此日は全部を擧げて今日の入場者に提供する筈で**大人に限つて二枚宛進呈**すること〻した、景品の中には時計もあれば三越自慢の帛紗、白米に醤油に味噌鍋に釜、世帯道具一式其他數々あつて、兎も角も景品引換所にある品物は**今日一日で全部捌いて終ふと云ふ方針**で二本宛籤を曳いて貰ふ筈で、而も略此日の入場者に行き渡たる樣に用意はしてあるが餘り入場者が多ければ或は不足を告げるかも知れぬが、其時は勘辨して貰はねばならぬ

化けも化けたり女將と老妓
家庭博の變裝探し＝變裝苦心の色々＝八名は發見濟みとなる

家庭博も明日一日と云ふ三十日の午後一時から京城一流料理店の女將と老妓連の變裝探しがあつて非常な景氣を添へた、女將老妓連の寫眞の載つて居る新聞を持つて女と見れば穴の開くまで見詰める連中が家庭博後庭の此所彼所に陣取られた午後一時頃、見るからに**品の好い素封家の御隱居さんに化けた辰中の女將お辰さん**が同じ辰中の流行妓辰龍の化けたドーも見ても山出しとしか見えない田舎娘を連れて乗込んで來たのを筆頭に、發熱四十度に近いと云ふ病體の顔を眉まで剃り落して下町のお神に化けて來た千代本の女將、思ひ切つた廂の出た大高襟に厚化粧をした富美の家の女將、髪を眞中で二つに分けて好く見れば貴婦人惡く見れば洋妾に化けた花月の老妓若一、喜久家の先生は紋付羽織の上品な貴婦人に化けて來た、白水の女將は又思ひ切つた大高襟、アノお女將がアーも變はるものかと云はるゝ位の化け方、大江戸の老妓だかの變裝の苦心は又一通りでない、妾は下町の世話女房だが酷い造りは却々出來たもの鬢付油で鼻の形を變へ眼の傍に腫物を拵へ巧く化けて居たが遂に發見された、女學生に化けた花月の老妓加代の發見者は規定に寄つて無効となり裏町の安月給取の奥樣がお使ひ歸りに家庭博に寄つたと云ふ姿に化けた花月のそのは顔の扮装から身體のこなしから如何にも自然に適つて居るので遂に發見されずに濟んだ、今日の發見者の中には朝から變裝女將の出る料理屋の前に待つて居た連中もあつた位で各々化けも化けたが一方發見者の熱心な探見に花月のそのを除く外は遂に左の人々に發見された

▲變裝發見者

花月	若一	日出町	寺岡尚
辰中	女將	旭町	田中四郎
富美家	女將	旭町	川上甚太郎
喜久家	女將	黄金町	酒井鉦補
白水	女將	明治屋	梅本信三
大江戸	なか	南山町	高本德太郎
辰中	辰龍	山邑內	竹村庄助

三十日の變裝者と應援團

博多仁輪加
何れも大喝采

家庭博餘興場の博多仁輪加は何しろ神崎福次郎君の肝焦で京城一流の仁輪加連中が出演した事とて始まる前から大人氣で大した人だかりだ、『浮かれ掛取り』が終ると家庭博のために新たに造つた『家庭博福引藝妓の景品』は或る車夫に一等が當つて藝妓を渡されて乗せて連れて家へ歸ると家內がゐて悋氣すると追ひ出して終ふ、と家內が怒つて巡査を連れてくる、巡査の質問に對して神樣の指圖で來たらうと言はれ何人力に乗つて來たといふのが落らになるのだが頗る面白いもので大喝采だつた

本日限り
行け！共進會へ　來れ！家庭博へ
店員職工慰勞デー　福引景品全部進呈

京日案內

普通 壹行一回前金三十錢（振替ハ五錢増）匿名一回毎に金五錢増

家政婦入用 元相當家庭生育性正實品格良婦人齡卅以上確實の者希望者本町四（中川雜貨店）へ來談 837

事務員募集 英書表字の少し讀み得る者希望者は履歴書携帯來談あれ ○京城南大門通 京城圖書館 839

生徒募集 シンガーミシン刺繍並に裁縫短期教授 ○黄金町二丁目 △シンガーミシン裁縫院 843

ほねつぎ うちみ、くじき治療 明治町（四ツ角を東坂上ふらんす敎會前） 荒川仁壽堂 電話二五九五番 790

貸家 日本建温突付三室至極閑靜 官吏向 漢陽公園南裏 管理者 舊龍山印刷局先畑中 827

寫眞技師採用 希望者至急來談 南大門通三丁目 京城寫眞館 電話一〇四〇番 829

女事務員入用 簿記係として希望者本人來談又は履歴書送れ 仁川新町 松齒石油組合 835

店員入用 十七歲より廿歲迄の者壹名至急入用希望者來談あれ 京城旭町壹丁目 山本小間物店 828

店員入用 齡十五六歲確實の者至急入用希望者本人來店あれ 京城本町二丁目 大阪屋號書店 822

白米安賣 小米共無利益原價販賣 ○京城共進會機械館內 △今橋派出所 821

番外 壹行一回前金六十錢（振替ハ八錢）匿名一回毎に金五十錢増

被尋鈴木榮次郎 尋ね人 靜岡出身にて鈴木榮次郎樣に急件あり早速來店ありたし ○京城本町二丁目 △富士の里茶店 838

內科婦人科 難症治療 京城南山町二丁目（喜久家の下）電話壹壹貳四番 一天堂醫院 840

京城春川 乗合自働車 賃金片道四圓 京城明治町一 京春自働車商會 電取次一八四六 支配人 松田壽男 841

引越荷物 安くて安全です 多少に不拘御用命願ます 南山町三丁目 電話二九三二 堀運送社 842

龍山榮町通廿六番地 齒科 龍山齒科醫院 819

小僧入用 齡十五六歲 高等小學卒業程度身元確實の者採用希望者至急自筆履歴書携帯來談あれ 京城大和町一丁目 電九五五番 白上商店 834

ほねつぎ うちみ くじき等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 685

花柳病專門藥房 詳細は本月三日の京城日報を御覧 京城南大門外 ドラック商會 電話二五六七（振替四六七） 637

恩給年金類立替 京城永樂町一丁目四十四番地 商品陳列館前 電話八〇三番 江州屋 709

鍼灸 マッサージ 産後乳もみ 京城明治町二丁目石田肉店横入 村上 電話三八四番 781

質店 弊店は完全なる倉庫を有し懇切に御取扱申候 ○債券公債買受申候 京城本町四 電話一〇三三 福田屋質店 783

日本名代 七味とうがらし 京城北米倉町南大門通入口 元祖 七色屋 岡本則達 796

印入タオル製造 進物用最適一打五十錢乃至一圓廿錢 印模様御好次第 電話一五九〇 南大門學校南側 小野タオル製造所 791

女中入用 二十歲以上の身體強健の者至急入用 南米倉町和樂園下 希望者は電話八三八番へ 高山

日語類解 ○文學博士金澤庄三郎編 クロース 定價七十五錢 日鮮兩音訓付双解最良の語彙なり 振替京城本町 △ウツボヤ書店 823

恩給 年金類立替 京城本町二丁目五十三番地 京城銀行横入 吉田屋 830

賃貸用新案堅牢椅子並に防水布 監獄製火鉢格安賣出 是非共一度御來店の程願上候 洋家具專業 黄金町二長橋通角 松浦京城出張所 電話二二五九番 831

平壌牛肉 特に軟かくして色良く美味 京城旭町一丁目日出ノ湯角 平壌山田牛肉店出張所 電話二二二四番 832

恩給年金類立替 京城御成町 電話二七七七番 山口屋 710

皮膚病花柳病專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二一〇二番 802

京城府告示第十六號
來ル三十一日天長節ニ付當廳ニ於テ御眞影拜賀式擧行候條同日午前九時ヨリ十一時マテノ間ニ於テ府民一般隨意拜賀セラルヘシ
但シ服裝ハ『フロックコート』若クハ羽織袴トス朝鮮人ハ相當敬意ヲ缺カサル服裝ニテ差支ナシ
大正四年十月二十九日
朝鮮總督府府尹 金谷充

法人登記
永登浦地方金融組合登記事項中理事日比野勇祐ハ大正四年十月八日退職同日京畿道始興郡北面永登浦里拾八番地富永是保理事ニ任命セラレ就任ニ付變更
右大正四年十月二十六日登記
京城地方法院永登浦出張所

新刊書御案內

滿蒙處分論 露國クロパトキン將軍原著 日本大井邑高譯 郵稅本社負擔 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

書名	著者
大禮奉祝唱歌	文部省
少年行	石
三四郎縮刷	漱石
鴨川情話	長田幹彦
白日紅の落	尾島菊子
女人國記	禿氏岳山
同情の力	南條博士
貧しき人々	灰沢和郎譯
自然論	片山孤村
日本一稲作法	戸上信次
和洋菓子製法	梅田竹次郎
朝鮮風俗集	今村鞆
朝鮮より	秋野
老子講義	三島中洲
話の庫 續	辻井子
をりをりぐさ	為見花蹊
變態性慾論	羽田、澤田
野心論	澤田政太郎
極東の露西亞	現代叢書
獨逸と歐羅巴	加藤元郎
貸倒れ復活策	武知鋼三郎
債權者の活願問	筒井格宣
大日本國語辭典	見本

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八 [illegible]

千生瓢 (28)

須藤南翠作　筒井年峰畫

對陣 (三)

命令に應じて行動するやうに、瀧川は秀吉に頤使された。桑名、長島の兩城を捨て、尾張の蟹江に籠城した上は、北伊勢の領國は、地も清めずに敵に獻げた事となる。秀吉は殆んど及に衂ぬらずして、伊勢を平定したのであつた。

是れで先づ一方の勁敵は片が著いた。岐阜殿の變態は、殆ど物の用に立たぬだけに挫折した。此上は力を一つにして、北國の鬼に當らねばならぬ。

『姑らくは、茶をゆる〳〵喫んでは居られまい。どれ』

名殘の薄茶に咽喉を濕して、秀吉は茶室を出た。

桑名、長島の兩城は、伊勢の國司家たる北畠信雄殿に參らせた。秀吉勢州を退轉の後、瀧川蟹江を出る事があらうとも、此兩城は固く守つて決して敵に渡されなど、くれ〴〵も注意を與へて、全軍を引き纏めると挨拶の如く美濃に進發した。其動作の敏捷な事といつたら、宛然自分の身體を進退するやうなものであつた。

美濃へ入つても少しの休息を與へなかつた。筒井法印順慶と、蜂屋出羽守とを、三城の押へに殘して、此手の軍勢をも引き纏め、新に陣を立て改めた。

第一陣は筒井伊賀守定次の七千餘人、是に島左近友之、松倉右近勝重の二千餘人を兩翼にして、總勢龍瞻一萬人。第二番は赤松次郎則房、蜂須賀彦右衛門正勝父子の二千七百餘人。第三番は木村小隼人重綱、堀尾茂助吉晴、前野勝左衛門某の三千餘人。第四番は一柳市助直盛、淺野彌兵衛長政、生駒甚助親正、小寺官兵衛孝高、明石與四郎則道の數千人。第五番は木下勘解由左衛門、周某、同く勝盛某、大鹽金右衛門某、山内猪右衛門一豐、黑田吉兵衛長政、中村彌平次一氏の總勢一萬二千六百餘人。第六番は高山右近太夫長房の千五百餘人。第七番は堀久太郎秀政仙石權兵衛秀久の千六百餘人。第八番は赤松彌三郎則友、神子田半左衛門某の千七百餘人、第九番は桑山修理亮重長、長岡與一郎忠興の三千餘人。第十番は中川瀬兵衛清秀、羽田長門守養眞の二千八百餘人。第十一番は三好孫七郎秀次、小川土佐守重光、大谷慶松吉隆、熊谷内藏直質の三千二百餘人。第十二番は羽柴美濃守秀長、同く於次丸秀勝の一萬二千五百餘人と順序を立て、第十三番には秀吉自ら馬を立てる。旗本の面面は、加藤虎之助清正、石川兵助貞友、平野權平長泰、加藤孫六嘉明、福島市松正則、脇坂甚内安治、糟屋助左衛門武則、田屋右馬之助兼政、平野九右衛門政重、淺野八郎左衛門其以下一萬五千餘人の備へである。後陣は杉原七郎右衛門、荒木平太夫三千餘人を以て、兵粮小荷駄を奉行する。總軍勢都合八萬九百二十餘人美濃を發して江州に進軍する勢ひ、野を斷ち谷を埋めて、猛獸の疾走する如くであつた。

本陣を長濱城に据ゑると同時に、先手の諸軍に命じて、柳ヶ瀬に陣を布いた佐久間盛政に對して、孰れも陣地を占めさせた。先づ十三段の備を二つに分け、一番から六番までは筒井伊賀守を先陣として、西山筋に押し寄せて陣を取る。七番から十三番までは、堀久太郎を先陣として、東の街道筋から押寄せる。筒井が勢は三町ばかりも突出して、東野村に旗を立て、此處で堀の手を待合せ、後陣は天神山に屯して、遙に柳ヶ瀬を睨んで居る、筒井の陣より松倉右近勝豐、飯田三郎治直宗、精兵七八十騎を提げて、市山の麓より今市の原に押し出し、哄とばかり鯨波を作つて佐久間の陣へ鐵砲を放ちかけた。

待ち設けた佐久間勢、足輕を出して鐵砲を打ちかける、硝煙熾んに敵味方に起るを見て、堀が陣より奥田三左衛門、百騎ばかりを引率して、越前勢に突いて入る、越前方も之に應じて、こゝを先途と戰つた。

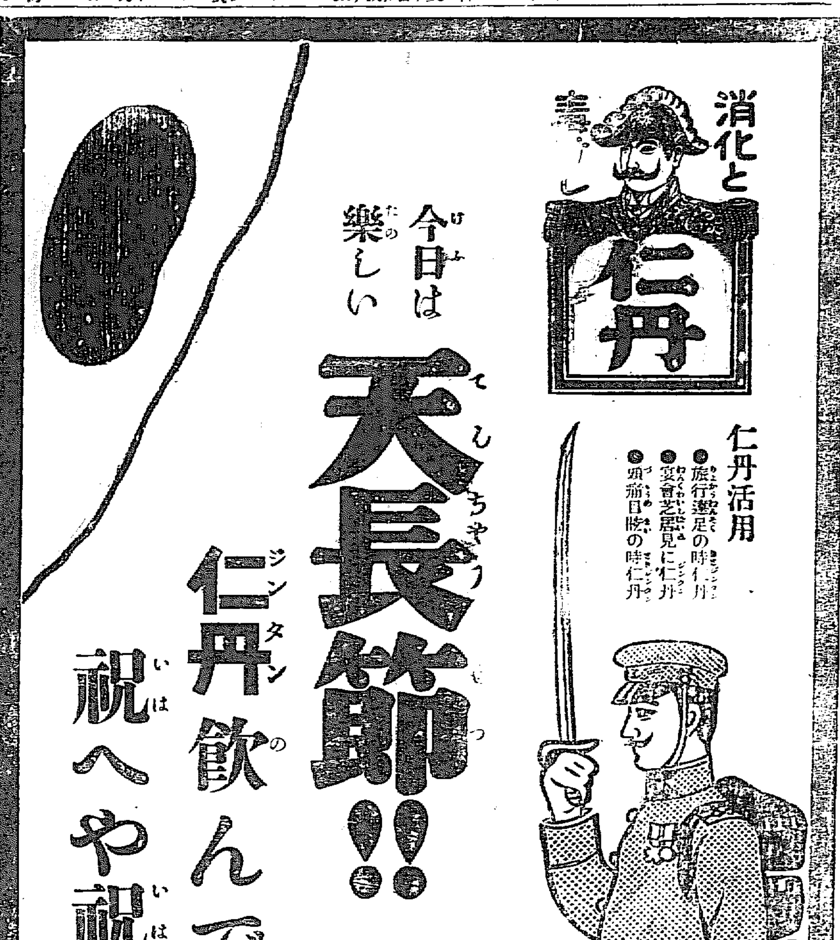
泌尿器病專門
腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　痳痔　皮膚病
入院隨意(診療夜九時迄)
永樂町二丁目　金光教會隣り
安部醫院　電話一九四番

實業家の印度談

數日前印度より歸朝したる實業家某氏の談によれば歐洲の戰爭以來印度に於ける日本の信用は非常なものにて今や殆んど其の極點に達し寧ろ其の實力以上に買ひ被ぶられ居るの感なき能はず其の理由は元來彼等は日本の軍隊の强きことを承認せしも其の他の文明機關特に商工業の發達に就ては到底歐米に企て及ぶ可きものにあらずと思ひたるに戰爭勃發して歐洲と印度方面との交通貿易殆んど杜絶となりたる時彼等は今後日用品の缺乏を告ぐる場合何れより需求せんかと頗る憂慮せしが從來一年數箇月間の久しきに亘りたれども日本よりドシ〳〵輸出する物品により何等不自由を訴ふることなければ彼等は今更の如く日本の實力偉大なるに驚き日本は啻に軍事のみならず商工業に於ても敢て歐洲列國に劣るものにあらずと思ひ彼等の日本に信頼するの念は益す切なるに至れり之れに反して彼等の英國に對する尊敬心は漸く薄らぎつゝあり其の理由は今や印度人にて歐洲の爲め戰爭に從軍し居るもの十數萬人あるが實際の戰況は聯合軍に不利なるを以て其の眞相印度に知れ渡りては英國の威信に惡影響を及ぼすこと大なるものある故に彼等の本國に發する書信は極めて嚴重なる檢閲を受け文言苟くも聯合軍の不利に及べば悉く沒收せられ只だ聯合軍に都合よき事のみ通信せられ居るも獨逸軍の優勢なること漸次事實に現はれ又英軍の獨逸と戰ふや常に印度兵をして最も困難なる所に當らしめ且つ英軍の勝つこと能はざる方面に向へば印度兵が容易に敵を破ぶり得ると云ふことまでも聞知するに至りたれば印度人は益す英國を輕侮するの念を起すに至れり、故に若し萬一巴爾幹半島に於て聯合軍が利を失ひ獨逸が東歐を蹂躙して擴及に出づるやうなことにもならば、印度は果して如何なる狀態に陷るべきか、斯る場合には日本も決して袖手傍觀する譯には行かざる可し、幷は暫く措き日本人が經濟的に發展す可きは實に今日の好機會を利用するに在るを以て此の際實業家は特に活躍せざる可からず。○記者は此の頃歐洲より歸朝せられたる石井外相に向ひ戰爭はいつごろ終局する御見込に候やと質問致候處其の御答は私には到底出來兼ね候へども戰爭の今後尚ほ一年以上繼續することだけは明言し得可しと答へられ候○されば世人が獨逸は假令ひ其の兵力聯合軍側より優勢なるにもせよ兵器彈藥糧食等に缺乏を告げつゝあれば案外早く媾和の時機到來するたらんなど空頼みするは未だ獨逸國民の素晴らしき決心覺悟あるを了解せざる爲めと存候○往年日本が東洋の一孤を以て大陸にも歐洲の最大强國なる露西亞と戰端を開くや、外國人等は皆な日本の爲めに危懼の念を抱かざるものなかりしも日本人には初めより勝算有之候否なとうあつても勝たざる可からざる決心覺悟有之候○當時若し日本が露國と戰ひ負けては國家の獨立生存出來ざるに至る爲めに國運を賭して戰ひたるが如く、若し今次の戰爭に於て、獨逸が敗衂を招くやうなこと有之候ては其の四五十年間にして築き上げたる帝國も滅茶々々になり霸業地に落ちて遂に二三等國に下らざる可からざる破目に可相成因つて國民は眞面目になり協心一致して敵に當り居る次第に候○軍國主義に養生せられ愛國的精神に鼓舞せられたる六千餘萬の獨逸國民が其心を一にし其の國を焦土にする覺悟を以て戰爭に從事致候ことなれば彼等の强きことは當然に御座候○日本は日英同盟の義を尊重して聯合國側の味方となり獨逸は即ち我が敵國なれば一日も早く征服の目的を達し度きは勿論に候へども獨逸國が今にも財政窮乏を告げて閉口す可しなど其の輕む可からざるを賴むは寧ろ味方の弱點を暴露するものと存候○それよりは吾々日本人は此の千載一遇の好機會に乘じ開國進取の皇謨を實行致度きものに御座候草々不一

大好評!!
演藝館福引　卅一日迄日延べ
仕掛大煙火　卅一日迄毎夕
京城協贊會

卸及小賣
京城本町二丁目　電話2380　振替2669



醫學博士　室谷修太郎先生述　(萬戶必携の家庭參考書)

家庭衛生及び救急法

最新刊　一名　醫者のくるまで　定價 金五錢 郵稅二錢

內容　一、個人衛生　二、傳染病豫防　三、凍傷　四、火傷　五、熱病　六、狂犬病　七、中毒　八、假死(人工呼吸法、種々の假死に於ける手當、喝病、電擊、縊首、絞扼、溺水、埋沒、凍死、毒氣吸入(炭酸瓦斯、燈用瓦斯中毒)、泥沼氣)、初生兒　九、人事不省　十、卒倒　十一、痙攣　十二、異物嚥下　十三、外傷、創傷骨折、脫臼及捻挫　十四、家庭必備の醫療具及藥品

家庭博覽會內の賣店及市內各書肆で實費を以て御頒ち致します部數に限りありますから至急御買求を願ひます

室谷先生は本書の冒頭に左の如くお話されました「家庭に於ける衛生及救急法に就ては申上ぐることは仲々に多いが大要を記載することにした、幸に御一讀を賜り各自衛生の保全に勉めらるゝなれば此の上もない、猶豫め知り置かれたとて別段御損にもならない事かと思ふ」醫者の來るまで素人の救急法は本書を置いて他に之れに優るものはない、室谷先生の御話の一端を拜借して萬戶必携の珍寶として江湖の家庭にお勸め致します

發行所　京城大平通一丁目　振替口座京城三〇〇番　京城日報社代理部

りん病 ばい毒 專門藥

吾が社は、天下に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、別種にも仕掛けもあるのではありません。只世界に有りとあらゆる藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる痳病、梅毒藥とでも効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月三日發行の京城日報を御覽下さい。●りん病藥一週間分壹圓武拾錢 特製武圓 ●ばい毒藥一週間分壹圓 特製參圓 照會は返信券を要す

京城南大門外停車場通り　ドラッグ商會
本舖 大阪 合資會社 ドラッグ商會
電話 二五六七番　振替京城四六七番

梅毒
梅毒の恐ろしき其害を破るは其治療法の宜しき藥劑撰擇の法を得ざるによる油斷をすれば危險は刻々に迫る此に於てはみ給へ速かにハガキにて御申越しあれ諸氏は全く秘密に根治し得る新治療自宅にて安全に
東京新藥學研究所 呈贈
東京大久保百人町三六八

美人
○○露骨及靑春男女
○○寫眞取合六枚
送料共四十八錢
十枚九十五錢切手
割增
大阪中之島二 美泉堂

青木堂主久保田金次郎氏豫て病氣の處去る廿九日午前十時卅五分死去被致候葬儀は來る十一月二日午後四時南山本願寺に於て執行決定に付此段在京城縣人諸彦に御通知致候

十月三十日

岐阜縣人會

葬具萬般整頓罷在り斯業に經驗深き者專ら業に當り如何なる御儀式にも決して差間無之候
京城大和町一丁目(總督府通)
大和葬儀舍　電話二四三八番

電話一五六七番
旭町二丁目(名古屋城下)
株式會社 京城葬儀社
本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候
霊柩馬車の御用有之候
中河原重吉
井上芳太郎
電話九五七番